

時事通信 2022-08-13 14:46 政治

### 改憲論議、同床異夢の自公維国＝9条・緊急事態、調整難航も

7月の参院選を経て、自民、公明両党と憲法改正に前向きな日本維新の会、国民民主の4党が衆参両院とも改憲発議に必要な全議席の3分の2を引き続き占めたことから、秋の臨時国会以降、改憲論議は進む見通しだ。ただ、「本丸」の9条はもちろん、比較的ハードルが低いとみられる「緊急事態条項」創設でも各党間に隔たりがあり、調整は難航しそうだ。

岸田文雄首相（自民党総裁）は参院選後、「できる限り早く発議に至る取り組みを進める」と表明した。自民党は(1)9条への自衛隊明記(2)緊急事態条項(3)参院選挙区の合区解消(4)教育の充実—を重点項目とする。首相が衆院解散に踏み切らなければ2025年まで大型国政選挙の予定がないため、この「黄金の3年間」に条文案で合意し、初の改憲発議にこぎ着けたい考えだ。

新型コロナウイルス禍や東日本大震災を踏まえ、自民党が最も理解を得やすいとみるのが緊急事態条項の新設。他の3党も国会議員任期の特例延長には理解を示す。ただ、国会を通さず内閣の権限で立法措置を取る「緊急政令」は自民党と維新が必要性を訴える一方、公明、国民両党は慎重な姿勢を崩していない。

9条改正に関し、自民党は戦争放棄を定めた1項と戦力不保持・交戦権否認を定めた2項を維持し、自衛隊の根拠規定を設ける案を提示。維新も足並みをそろえる。これに対し、公明党は9条に手を加えることに否定的。国民民主は「自衛権」行使の範囲などを明確にすべきだとの立場だ。

合区解消について、公明党と維新は参院選挙制度をブロック制に変えるよう主張。教育の充実に関しては、維新は「無償化」を唱えるが、自民党はそこまで踏み込むことに後ろ向きだ。

こうした状況に、公明党からは「多くの党の合意形成に努めなければならない」（北側一雄副代表）と、自民党をけん制する声上がる。

#### ◇安倍氏の影

改憲の「旗振り役」だった安倍晋三元首相の死去も影響しそうだ。自民党の保守系議員は推進力低下を懸念しており、5日の党憲法改正実現本部の会合で古屋圭司氏は「しっかり取り組むことが供養になる」と強調した。

ただ、安倍氏の「遺志」を前面に出せば、「安倍改憲反対」を掲げていた立憲民主党などを刺激する可能性が高まる。衆参両院とも野党第1党の座を維持する立民の反対を押し切ってまで発議することには自民党内にも慎重論が強い。

首相は内閣改造を受けた10日の記者会見で最優先課題を問われ、「持続可能な経済社会」と「ポスト冷戦期の次の時代の国際秩序」をつくることを挙げ、改憲に言及しなかった。自民党内には「本音ではそれほど前向きでない」（中堅）との見方がくすぶる。

[時事通信社]

平和つなぐ 権威増す「遺志」 揺らぐ9条 「理想的平和主義は限界」



6日夜、自民党の菅義偉前首相と日本維新の会の松井一郎代表が東京都内で会食した。凶弾に倒れた安倍晋三元首相も加わるはずだった。2人は安倍氏を悼み、悲願だった憲法改正も話題になったという。

「自民党は安倍元首相の遺志を引き継ぐと公約している」。維新が比例代表で野党第1党に躍進した7月の参院選後、松井氏は「公約を守ってほしい」と改憲を迫っていた。

両党と公明、国民民主を加えた改憲に前向きな4党の議席が衆参両院で発議に必要な3分の2以上を維持し、岸田文雄首相は「できるだけ早く発議し、国民投票に結びつけていく」と呼応。安倍氏の「思いを引き継ぐ」と言い添えた。

現行憲法を「戦後レジーム」の象徴とみなし、自衛隊を9条に明記して「違憲論争に終止符を打つ」と繰り返してきた安倍氏。党内保守系は改憲が「供養になる」（古屋圭司・憲法改正実現本部長）、「志をともした私たちの務め」（高市早苗・同顧問）と結束する。

#### 横浜大空襲の記憶

ロシアのウクライナ侵攻後、国際情勢の緊迫化によって危機感があおられ、世論は参院選前から9条改正に傾いていた。共同通信が5月にまとめた世論調査で、67%が自衛隊明記に賛成した。その機運を情緒的にさらに高めたのが、安倍氏の急逝だった。

「反対の声が埋もれてしまう」。改憲が現実味を帯び始め、横浜市瀬谷区の藤原律子さん（90）は警戒する。「大戦の血と汗と涙の上に立つのが9条だから」

14歳で直面した横浜大空襲の記憶は、なおも鮮明だ。1945年5月29日。眼前で焼夷（しょうい）弾がさく裂し、顔なじみだった少年の右脚が吹っ飛んだ。「彼は片足で2、3歩びよんびよんと跳ね、倒れこみました」。逃げ惑い、手を差し伸べられなかった負い目は77年たっても拭えない。

2015年に安全保障関連法が成立し、「戦争の足音が聞こえてくる」といぶかしむ。日本が直接攻撃されなくても存立が脅かされると政府が判断すれば、自衛隊は他国に武力行使できるようになった。藤原さんにとっていま、「戦前」にほかならない。

国論が二分されながら採決を強行したのは、安倍政権だった。藤原さんも原告として闘う違憲訴訟は、安倍氏亡き後も各地で係争中だ。

#### 大国並みの防衛費

安保法制後、「憲法のがたが外れたままになっている」と元内閣法制局長官の阪田雅裕さんは指摘する。国是の専守防衛は骨抜きになった。

「反撃能力」と改称された敵基地攻撃能力は、7月に公表された防衛白書で初めて保有を検討すると明記されたが、敵基地攻撃に転用可能な長射程巡航ミサイルはすでに安倍政権下で導入が決まっていた。日本領域から北朝鮮国内や中国沿岸部を射程に収めるものの、国是を逸脱しないよう、島しょ防衛が建前にされた。

防衛省は早期配備を目指し、来年度予算案の概算要求に盛り込む方針。要求額は明示分だけで過去最大の5兆5千億円で達し、最終的な防衛費は「相当な増額」（岸田首相）が必至だ。7兆円近くを「相当」とした安倍氏の意向に近づいている。

敵基地攻撃能力を保有し、防衛費が大国並みに迫りながらなお、自衛隊が「戦力」でないとの政府解釈を踏襲し続ければ、「それはまやかした」と阪田さんは言い切る。「9条の理念的な平和主義は限界にきている」

中ロの脅威が増すにつれ、安倍氏の「遺志」は権威づけられていく。（川島秀宜、平綿裕一）

## 日本の憲法改正に二つの障害—中国メディア

7月24日（日）9時10分 Record China

日本の憲法改正の動きに中国メディアが大きな関心を寄せている。共産党系メディアは改憲には「日本国内の異議」「近隣諸国の反対」の二つの障害が存在すると論じた。

写真を拡大

日本の憲法改正の動きに中国メディアが大きな関心を寄せている。共産党系メディアは「日本国内の改憲を支持する勢力が参院選で勝利を収め、日本の国会は間もなく憲法改正の段取りに着手する」と警戒。その一方で改憲には「日本国内の異議」「近隣諸国の反対」の二つの障害が存在すると論じた。

中国網は日本の改憲問題を考察する楊丹志・中国人民大学国家安全研究員高級研究員が執筆した記事を掲載。楊氏は「日本の右翼勢力は長きにわたり憲法改正を目指している。2019年、当時の首相で自民党党首だった安倍晋三氏は自衛隊の存在を日本国憲法第9条に盛り込む意向を重ねて表明し、自衛隊は『防衛の根本』だと主張し、『令和時代』の憲法に改正する決意を示した」と述べた。

楊氏によると、当時安倍氏は三つの障害に直面していた。一つ目は憲法改正を主張する政治勢力。規定の参院議席の3分の2に達しておらず、制度的な障害があった。

二つ目は日本国内の反応。「日本の平和憲法は長年存在し、深く根付き、日本で異議がある話題であり、（改憲が）国民から広く支持されることは難しい」とした。

三つ目としては「日本は第2次世界大戦以降、当時の侵略戦争と戦争の罪を深く反省しておらず、自衛隊の存在を日本国憲法第9条に盛り込み日本の軍事大国化の道をつくれれば、国際社会の懸念を引き起こし、特に日本による侵略で重大な災難を被った中国と韓国で懸念と反対が起きる」を挙げた。

楊氏は「日本が憲法改正で直面した『三大障害』のうちの制度面の障害は今存在せず、日本が憲法改正を進めるうえで都合がよいに違いない。しかし、二つ目と三つ目の障害はまだある」と指摘。参院選前の世論調査を引用し、「日本の有権者の関心事トップ3は景気回復、年金、医療で、安全保障と外交は5番目に多かった。一部の有権者は安倍氏への同情から憲法改正派に支持票を投じたが、憲法の内容には完全に賛同していない可能性がある」との見方を示した。

近隣諸国に関しては「中国と韓国の両国は日本の憲法改正の内容に敏感で、特に自衛隊の条項を盛り込むことが中韓から反対されることは必然的である。日本がかたくなに憲法を改正すれば、近

隣との外交のこう着状態は免れない」と言及。「憲法改正が決定した場合、日本はいわゆる『正常国化』と『軍事大国化』の道を早足で歩むに違いない」と警鐘を鳴らした。

同時に楊氏は「日本は憲法改正前に起こりうる影響を全体的に考慮する必要がある」と論評。「日本が憲法改正を進めても、日本国内と国際社会の圧力は憲法改正をけん制し滞らせることになるだろう」と主張した。（編集/日向）

## 安倍首相の不慮の死で日本では憲法改正が加速、軍事力増強も引き続き—香港誌

亜洲週刊 2022年7月18日(月)8時0分

香港誌・亜洲週刊は、日本では安倍晋三元首相が殺害されたことで、安倍元首相の悲願だった憲法改正への動きが加速すると論じる、毛峰東京支局長の署名入り記事を発表した。以下は、同記事の主要部分の要約だ。

香港誌・亜洲週刊はこのほど、日本では安倍晋三元首相が殺害されたことで、安倍元首相の悲願だった憲法改正への動きが加速されると論じる、毛峰東京支局長の署名入り記事を発表した。以下は、同記事の主要部分の要約だ。

### ■国内経済、防衛強化、同盟外交の形成に尽力

安倍元首相は戦後日本の保守政治の最も重要な担い手として、第二次政権以降で成熟して柔軟な内政や外交の手腕を見せた。国内経済では金融緩和政策を中核とするアベノミクスを打ち出すなどした。当初は9000台だった日経平均株価指数は3万近くにまで上昇させた。外交関連では、戦後体制からの脱却と日本国憲法の改正という政治目標を掲げ、日本におけるの政治の実質的転換を推進した。軍事では、戦後日本の専守防衛の壁を初めて突破し、集団的自衛権の行使を可能にする安保関連法を国会で成立させ、事実上の憲法改正に向けた重要な一歩を踏み出した。防衛予算では成長を堅持し、また武器輸出三原則を緩和した。

安倍元首相は米国のオバマ元大統領とトランプ前大統領、特にトランプ前大統領と親密な首脳関係を築くことで、日米同盟をさらに強固にした。2016年には「自由で開かれたインド太平洋構想」を初めて提唱し、国際社会の戦略的関係の再編をリードした。米国は同構想を受け入れただけでなく、米太平洋軍司令部をインド太平洋司令部に名称変更することまでした。欧州主要国も相次いでインド太平洋戦略の策定に追随した。

安倍首相は日米同盟を強化する一方で、地球儀を俯瞰（ふかん）する多国間同盟形成のための外交を積極的に推進した。第二次政権発足以降には80の国と地域を歴訪し、累積外遊回数は176回に達した。移動距離は地球40周分に達し、日本の国際的な政治・外交影響力を大きく高めた。

### ■参院選では死去した安倍元首相に対する「同情票」効果も

安倍元首相は日本の憲政史上通算最長の首相在任記録を樹立した後、20年9月16日に勇退した。バトンを渡されたのは菅義偉前首相、続いて岸田文雄首相だった。しかし安倍元首相は日本の政治経済と安全保障についての重大な意思決定を司る存在であり続けた。

安倍元首相にとって憲法改正は常に政治的悲願であり、そのために野党との戦いを繰り返し広げた。安倍元首相は退任後も憲法改正の早期実現に旗を振り続けた。自民党岸田政権は今回の参議院選挙

で、憲法改正と防衛費を GDP の 2% に増やすことを公約に掲げた。この 2 点は初めて、選挙の正式な焦点の一つになった。

安倍首相の死は参院選の争いによって世情の嵐を揺るがした。日本では岸田首相を含む多くの要人や各政党の党首が一斉に、民主主義の根幹を揺るがしたとして犯人の卑劣な行為を非難する声を上げた。日本国民は暗殺テロ行為に憤り、元首相の死去に深い哀惜と同情を示した。日本の各テレビ局は、安倍首相が銃撃され死亡したことに関する最新情報を流し続けた。

安倍首相が襲撃されて死亡したのは投票の 2 日前だった。そのため、同情票が発生するのは必然だった。10 日投票の参院選では、安倍首相が所属した与党自民党が圧勝した。自民党は改選 125 議席のうち 8 議席増の 63 議席を獲得し、今回の改選で獲得した議席で単独過半数に達するという事前予想以上の勝利を果たした。

ある緊急世論調査によると、安倍元首相の殺害で、それまで考えていた投票先を変えた（自民党に乗り換えた）人が 13% 存在した。この数字は、自民党の議席が急増した割合とほぼ一致する。また、今回の選挙の結果、参議院における改憲勢力は、可決に必要な 3 分の 2 を超えた。衆議院の改憲勢力はすでに 3 分の 2 を超えていた。すなわち、憲法改正法案の国会での成立に向けた足がかりが確立された。

■自民党は「鉄は熱いうちに打て」と憲法改正の動きを加速か  
岸田文雄首相は、勇気を持って大きな課題に挑戦し、安倍首相の遺志を引き継ぎ、早期に国会で憲法改正の議論を推進し、安倍元首相が実現できない憲法改正の難題の克服に取り組むと明言した。また、最新の世論調査を見ると、憲法改正に賛成している人は 50% 程度存在する。

国内外の情勢がいずれも日本の憲法改正論者に有利である上に、安倍首相の突然の死に対する多くの民衆の同情など特殊な感情と相まって、政権与党自民党は「鉄は熱いうちに打て」との考えで、日本の憲法改正の推進を加速するだろう。

ただし、安倍元首相ほどの求心力を持たない岸田首相らが自民党内を効果的かつ強力にまとめられるかどうか、公明党や維新の会などとの合意形成に向けた改憲案の調整ができるかどうかは見守らねばならない。また、憲法改正案が成立するためには最終的に、国民投票で有効投票の過半数以上を獲得せねばならない。開示された憲法改正案が国民の支持を得られるかどうかも問題になる。

■中国に対する圧力と抑止力は強化の方向

安倍首相の遺志である憲法改正に向けた動きが加速する中、岸田政権は日米同盟をさらに強化しつつある。岸田首相は安倍元首相の弔問として来日したブリンケン米國務長官にも、日米同盟の強化を訴えた。このことは、岸田首相が米国に向けて、日米同盟を強化し続けることを切実に期待する政治的シグナルである。

岸田首相はまた、防衛計画の大綱など 3 つの重要文書を前倒しで修正している。敵基地に対する反撃能力の保有を達成し、5 年以内に防衛費を GDP 比 2% に引き上げ、各種中・長距離防空対艦ミサイルの調達と研究開発を強化し、電子戦やサイバー戦、宇宙などの分野で軍事能力を強化する考えだ。

自衛隊と米軍は台湾で突発的な事態が発生した場合の新たな共同作戦計画草案を策定している。その中核部分は中距離・遠距離

にある対敵基地打撃能力の構築と強化だ。そのため、米軍は沖縄、岩国、福岡、北熊本などに機動性のある中距離ミサイル部隊を配備する。日本側には F-15J 戦闘機 12 機を改造し、射程約 1000 キロの JASSM-ER ミサイルを搭載できるようにする。日本側はさらに、F-35A ステルス戦闘機を改造し、中距離ミサイルの JSM を 2 発搭載できるようにする。

日米は共同で中長距離ミサイルの攻撃能力を高め、作戦半径を 1000 キロにまで拡大する。台湾海峽地区、中国福建省、東シナ海などの地域がカバーされることになり、中国に対する軍事的圧力と抑止力はますます強くなるはずだ。（翻訳・編集/如月隼人）

## 日本はいつ改憲に着手するか？中国専門家「短期間に具体的推進は困難」

7月20日（水）12時30分 Record China

中国の専門家は、日本の憲法改正手続きは政党の力や世論など複数の要因の影響を受けるため、順調に進められるか否かはなお観察を要すると指摘している。

日本の第 26 回参議院議員選挙が先ごろ実施された。その結果、「憲法改正」を主張する勢力が 3 分の 2 以上の議席を獲得して、憲法改正の発議に必要な「ハードル」を越え、岸田文雄首相が憲法改正手続きの推進に力を入れるのを、国際社会は注視している。専門家は、日本の憲法改正手続きは政党の力や世論など複数の要因の影響を受けるため、順調に進められるか否かはなお観察を要すると指摘する。人民日報海外版が伝えた。

■短期間に具体的推進は困難

中国社会科学院日本研究所外交室の張勇（ジャン・ヨン）室長は「時機的に見ると、連立与党が衆参両院の選挙で相次ぎ勝利を収めたため、今後国民の関心の焦点は選挙から具体的な政策の実行へと移る。物価上昇、インフレ、年金、医療、新型コロナ対策など、経済・国民生活における国民の関心に応えるために、的確な措置をどう講じるかが、岸田政権にとって喫緊の課題となる。能力という視点で見ると、憲法改正は日本政治において最も敏感な問題であるため、慎重に扱わなければ、容易に世論を引き裂く結果をもたらす。国会発議にせよ、国民投票にせよ、改憲手続のいずれの段階においても与党は大きな政治的力を動員する必要がある、その能力が強く試されることになる。そのため、現実的条件を考えると、岸田氏が短期間に改憲手続を具体的に推し進めることはないだろう。彼にとって当面の最優先事項は、政権基盤を固め、国民の支持を得ることだ」と指摘する。

外交学院国際関係研究所の周永生（ジョウ・ヨンション）教授は「改憲勢力と見なされる 4 つの政党は、すでに改憲推進という大きな目標については合意しているものの、改憲の具体的内容については見解を異にする。共同通信はウェブサイトで、改憲勢力の各党は個々の論点について意見が異なるため、与野党の合意形成は困難である可能性を報じた」と指摘する。

日本の憲法改正手続きによると、憲法改正の発議には衆参両院でそれぞれ 3 分の 2 以上の議員の賛成を要する。国会が憲法改正を発議しても、その後国民投票を実施して、過半数の賛成を得る必要がある。朝日新聞の 5 月の世論調査では、憲法 9 条を改正してはならないとの回答が 59% に上った。NHK の調査では、改憲に賛成する人はわずか 35% だった。

張室長によれば、日本が憲法改正のアジェンダを推進する上で、現在最も主要な影響要因の1つが民意と世論だ。戦後日本の経済的繁栄は「平和憲法」のもたらした安定した発展環境のおかげであり、自民党も経済政策の成功によって国民の支持を得てきた。憲法改正の推進は平和主義の精神から乖離するものであり、現在の日本の経済的・社会的苦境の解決にも無益だ。したがって、改憲勢力がいかんして十分な民意の支持を勝ち取ろうとするか、長期的な観察がなお必要だ。(提供/人民網日本語版・編集/NA)

### <独自>陸自、無人地上車導入へ 戦闘地域で輸送用

産経新聞 2022/8/13 20:48

防衛省が来年度当初予算の概算要求で、陸上自衛隊への無人地上車両(UGV)の導入に向けた経費を計上する方針を固めたことが13日、分かった。複数の政府関係者が明らかにした。これまで自衛隊では航空機と艦艇、潜水艇で無人機の導入に取り組んでいるが、陸上分野は初めて。戦闘地域などでの輸送車両としての運用を念頭に、8月末の概算要求に向け、具体的検討を進めている。

防衛省が来年度当初予算で導入を検討するのは、戦闘地域などで装備や糧食などの物資や負傷隊員を運ぶUGV。衛星通信などで遠隔操作することで輸送作業を効率化するとともに、攻撃を受けた際に輸送要員が死傷するリスクを減らす。

防衛省はすでに、無人航空機(UAV)を導入し、無人水上艇(USV)、無人潜水艇(UUV)の研究開発を行っている。攻撃型UAVの研究も進めているが、無人機は主に情報収集や哨戒目的の使用を前提としており、UGVも輸送目的の使用を念頭に置く。UGVは2015年ごろから米国や英国、欧州など各国軍で導入され始め、今年6月にパリで開かれた世界最大級の防衛装備品展示会「ユーロサトリ」では、機関砲を搭載した戦闘用UGVも登場した。

来年度当初予算の概算要求に向けた骨子では、防衛力の抜本的強化の柱の一つとして「無人アセット(装備品)防衛能力」が挙げられている。政府が年末までに改定する国家安全保障戦略など戦略3文書でも、主要項目に無人化装備が位置付けられる可能性がある。

民間分野では、国内でも大手ゼネコンがすでに建設現場の建機の自動運転化などに乗り出している。防衛省関係者は無人機の導入について、「陸海空のあらゆる場面で有効利用を検討したい」と話す。

### 「欧州超え安保構想」空自とも協カドドイツ空軍総監

時事通信 2022年08月14日07時13分



ゲアハルツ独空軍総監(独空軍提供・時事)

【ベルリン時事】ドイツ空軍トップのゲアハルツ総監が時事通信の書面インタビューに応じ、15日から予定する戦闘機のインド太平洋派遣を通じ「欧州を超えて、安全保障を構想していることを示す」と強調した。日本をはじめアジアへの関与を強める意気込みを示した。

ドイツ空軍、インド太平洋派遣へ 日韓豪訪問、対中けん制

中国の脅威をどう捉えるか。ゲアハルツ氏は「欧州で侵略戦争が復活した今、インド太平洋での対立軸についても、懸念を持って注視している」と述べ、ロシアのウクライナ侵攻を引き合いに憂慮を表明した。「帝国主義的な考え、攻撃的レトリック、軍事的威嚇は、直ちに紛争につながる恐れがある」と警鐘を鳴らした。

航空自衛隊との関係については「緊密な信頼関係の下、協力を強められると確信している」と強調。特に、情報交換や、宇宙安保での協力を期待している。

ショルツ政権は、ロシアの脅威増大を受け1000億ユーロ(約13兆7000億円)を投じた軍備増強を決めた。ゲアハルツ氏は「安保は無料ではない」と指摘。国防費増額により米国製の最新鋭戦闘機F35の調達が実現し、日本を含め同機導入国との連携が容易になったと歓迎した。

ウクライナの戦況に関しては、ロシアは最新の戦闘機を使用しているにもかかわらず、ウクライナの防空態勢が強力に機能していると称賛。防衛における航空優勢の重要性が、改めて示されたと分析した。

### ドイツ空軍、インド太平洋派遣へ 日韓豪訪問、対中けん制

時事通信 2022年08月14日07時13分



日本など各国国旗が塗装された独空軍の戦闘機「ユーロファイター」(独空軍提供・時事)



【ベルリン時事】ドイツ空軍は15日から、日本、オーストラリア、韓国、シンガポールといったインド太平洋諸国に、戦闘機「ユーロファイター」6機を含む軍用機を初めて派遣し、合同演習などを行う。アジアの民主主義国との軍事的関係を深める一方、覇権主義を強める中国をけん制する方針だ。

ドイツ海軍は昨年、フリゲート艦を日本近海をはじめインド太平洋に派遣し、北朝鮮による洋上での物資積み替え「瀬取り」の監視活動にも参加した。今年は戦闘機の派遣で、アジアへの関与継続を示す。ゲアハルツ空軍総監は、第2次大戦後の独空軍にとって「これまでで最大規模の派遣計画」と述べている。一方、中国に「威嚇的なシグナル」を送るわけではないと、過度な刺激を控える姿勢も見せた。

投入するのは、ユーロファイターのほか、輸送機A400Mが4機、給油機A330 MRTTが3機。空中給油を活用し、ドイツからアジアまでの迅速な移動が可能であることを示す。

豪軍によると、豪州では19日から、日本を含め17カ国が参加する合同演習「ピッチブラック」が約3週間行われる。独軍もこれに参加する。

日本には9月28～30日、ユーロファイター3機などが訪れ

航空自衛隊と共同飛行を実施。ゲアハルツ氏が防衛省と防衛協力を協議する。ドイツには10月初旬に帰還する。

ドイツは2020年、インド太平洋での外交指針を策定。対中偏重を修正し、他のアジア諸国との関係を強化する方針を表明した。昨年12月に就任したショルツ首相もこうした姿勢をさらに強め、今年4月には就任後初のアジア外遊先として、日本を訪問した。

## 知恵と民政生かした安保政策を 遠藤誠治・成蹊大教授—台湾有事・識者インタビュー

時事通信 2022年08月14日07時17分



インタビューに答える成蹊大の遠藤誠治教授＝

9日、東京都武蔵野市の同大

—現在の国際情勢は、

外交に軍事力の裏付けを 小原凡司・笹川平和財団上席研究員—台湾有事・識者インタビュー

先進国を含め富の格差が一層拡大し、安定した民主主義が営みにくい環境が生まれた。中国やインドの台頭といった国家間の「パワーシフト（力の移行）」も起こる中でロシアの侵略戦争に直面し、構造的な不安定性が倍加しており、危機的な状況が長期化する可能性がある。

—ウクライナ侵攻の背景をどう見るか。

転機は2000年代初めごろで、ロシアを含む欧州秩序を構想しきれなかったのが大きな失敗だ。米国の弾道弾迎撃ミサイル（ABM）制限条約離脱などに対し、ロシアは思いとどまるよう発信していた。西側は経済的利益を与えておけばロシアは言うことを聞くと誤算した面もあっただろう。

—中国の台湾政策が強硬だ。

中国は高度経済成長が終わりを迎え、共産党支配の正統性をナショナリズムで補ったため、「強く誇りある中国」を見せないといけない状況に陥っている。ペロシ米下院議長の訪台は中国の強硬姿勢に理由を与えた。外交的に賢明ではなかった。

—「台湾有事」への対応は、

現実として日本に台湾を守る力や義務がないことははっきりさせるべきだ。現状維持で中台ともに辛抱を続け、軍事的手段に出れば築き上げてきた全てが崩壊することを中国に政治的に言い続けることがまず大事だ。

ウクライナ危機で同国民を周辺国が受け入れたように、台湾有事になれば日本は避難民救出に全力を挙げるべきだ。米軍は沖縄や佐世保、岩国基地をフル活用し日本に補給を求めてくるだろう。安全保障法制に基づけばそれを断れず、日本は戦争当事国に追い込まれる。補給に当たる自衛隊艦艇や国内の米軍基地が攻撃された場合、政治的には非常に困難だが反撃は米軍に委ねた方がいい。それが日本国民と台湾文民を守るポジションではないか。

—防衛費増額議論については、

護衛艦「いずも」の事実上の空母化が示すように、議論がないまま日本は敵基地攻撃能力を保有しつつある。透明性を欠いたまま相互不信を深めていく選択が賢明なのか、真剣に考えなければ

いけない。予見可能性の高い安定した日本の基盤になっているのは現行憲法で、世の中が不安定だからこそ大事にすべきだ。サイバー攻撃へのもろさは指摘されており、インフラなどの安定性を守る安保能力向上は必要だ。

気候変動やエネルギー転換といった新たなリスクへの解決に努力し、モデルを提供する国になることが日本を攻撃する他国のコストを高める。人口減少・高齢化が進む中、少ない若者を軍事に割かずに紛争を抑制し、知恵と民政の力を防衛に役立てる政策を探るべきではないか。

◇遠藤誠治氏略歴

遠藤 誠治氏（えんどう せいじ）東大院法学政治学研究所修士課程修了後、同大助手を経て成蹊大教授。59歳。著書に「シリーズ 日本の安全保障」（編者、岩波書店）など。

## 終戦の日を前に若者が戦争や平和について考える催し 東京 日野

NHK2022年8月14日18時51分



15日の終戦の日を前に、若者が中心となって戦争や平和について考える催しが東京 日野市で開かれました。



この催しは、戦争の悲惨さや平和の大切さを若い世代に引き継ぐと日野市が毎年開いていて、市民などおよそ50人が参加し、地元の高校生が進行や運営などを担当しました。

まず、2人の戦争体験者が自身の経験を語り、このうち、幼少期を旧満州で過ごした杉江ヨシエさん（83）は、戦況が悪化する直前に日本に引き揚げるのができたものの、現地に残った友人が亡くなったことを知り、「あと1週間引き揚げが遅ければ自分も助からなかったかもしれない。戦争は二度と繰り返してはいけない」と訴えました。

また、佐藤サヨ子さん（83）は生まれ育った宮城県大崎市で、近所に住む男性がアメリカ軍の航空機に銃で撃たれて亡くなった時の恐怖などを語りました。



このあと、地元の大学生2人が、戦時下で過酷な生活を余儀なくされた女学生を描いた紙芝居を朗読し、最後に「これからを生きる世代として今後も読み継いでいきたい」と決意を語りました。朗読した大学3年生の1人は「受け身ではなく、戦争のことをみずから調べて発信することで、自分で体験していなくても戦争のことを伝えていくことができるのではと感じました」と話していました。

司会は高校2年生の進藤真子さん



今回の催しでは、高校 2 年生の進藤眞子さんが司会を務めました。

進藤さんはこれまで平和に関する催しなどに参加したことはありませんでしたが、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続く中、戦争や平和について考えるきっかけにしたいと思い、司会を引き受けました。



本番に向けて教師や先輩と一緒に台本を読み合わせて内容を確認したり、過去の催しで戦争体験者が語っている様子を映像で見たりして準備を進めてきました。

進藤さんは「ウクライナ侵攻は悪い言い方になるけどひと事みたいな感じでした。戦争はみんなが悪いことだって言うから悪いことだと思ってきたけど、そういう思考停止みたいな感想がよくないとは思っていたので、多少でも自分なりの考えを身につけることができれば」と話していました。

そして迎えた 14 日、司会を務めた進藤さんは戦争体験者の話を踏まえ、「教科書などでは学んでいましたが、実際に体験された方の体験を聞くと印象が全然違うように感じました」などと自身の思いを述べていました。

催しのあと、進藤さんは「戦争体験者の話を聞くことができるのは今がぎりぎりのタイミングで、伝え継いでいく必要性を強く感じました。自分にできるかどうかはまだ分かりませんが、きょうはいろいろなことを聞いたので、振り返った時に有意義な 1 日だったと思うようになればいいなと思います」と話していました。

### 「いま、戦前と同じような雰囲気」 歌人・馬場あき子さんインタビュー 「恋は厳禁」戦時中の記憶を語る

東京新聞 2022 年 8 月 15 日 06 時 00 分

<つなぐ 戦後 77 年>

歌人として戦後長く活躍して文化功労者に選ばれ、旭日中綬章を受章した馬場あき子さん（94）が、終戦の日に合わせて本紙のインタビューに応じた。これまでに出した 27 冊の歌集には、戦争体験を題材にした歌も収められている。「いま、戦前と同じ雰囲気がある。日本が戦争をしないように、考えることが大事」と馬場さんは訴える。



戦時中の様子を話す歌人の馬場あき子さん＝川

崎市麻生区で

ばば・あきこ 1928（昭和3）年、東京生まれ。44年春から、中島飛行機武蔵製作所（現武蔵野市）へ勤労働員される。45年4月13日の空襲で自宅が全焼。同月末に日本女子高等学

院（現昭和女子大）に入学。在学中に47年に歌誌「まひる野」に参加した。中学や高校の教員生活を経て、78年に歌誌「かりん」を創刊した。「歌説話の世界」で紫式部文学賞を受賞するなど受賞歴多数。文化功労者、旭日中綬章受章。

東京で生まれ、高等女学校の生徒となった1940年から歌を詠む馬場さん。戦時中は中島飛行機武蔵製作所（武蔵野市）に学徒動員され、空襲警報が鳴るたびに工場の地下道に逃げたという。また、高田馬場（現在の新宿区）にあった自宅は45年4月の空襲で全焼した。

「工場の空襲では、後片付けをしていた男子から『女子生徒の遺体が山のように重なっていた』と聞いたりした。そういう無残なことが当たり前だった」と戦時中を振り返る。

78年から歌誌を発行する短歌結社「歌林の会」を、夫の岩田正さん（故人）と主宰。最近の若手の作品を見て「傷つくことを心配するような歌が多いと思う。でも傷ついたっていいじゃない、私も満身創傷<sup>そうい</sup>でやってきたんだから」と激励を忘れない。

◆インタビュー詳細 「万歳、万歳」裏では泣いて 一日本が米国・真珠湾を攻撃した1941年12月8日のことを教えてください。

当時は東京・中野の高等女学校の2年生で、苦手な数学の試験の日でした。試験中に校内放送があって試験は中止。講堂だったか校庭だったか、1カ所に集められました。先生から開戦の詔勅を紹介されて、これから米国と戦争することになると。「生活と学問、両方に緊張感を持ってしっかりやらなければいけない」と言われました。

教室に戻って、友だちと教材室に地球儀を返しに行ったんですね。日本はすでに中国と戦争をしていましたから、地球儀を回して中国と米国を見てびっくりした。本当の絶望感。大国2つを相手に、大陸の横っちょに張り付いた赤いミズミミみたいな日本が勝てるわけがない。早く終わらせた方がいいんじゃないかと思いました。怖かったですね。

一少し後の新聞の1面で、真珠湾へ特殊潜航艇で出撃して亡くなった旧日本海軍の軍人を「九軍神」と祭り上げる記事が掲載されました。

「軍神」と書いてあっても、黒い制服を着た壮年の死者9人の写真が並んでいて、何か不吉な感じがしました。こうした死者によってしか勝利が得られない。無理な勝利なんじゃないかと誰でも感じるでしょう。

日中戦争が始まったころ、街に花電車が出たり、ちょうちん行列や旗行列をやったりしたんですよ。その後は傷<sup>しょうがい</sup>軍人が送還されてきて、私たち女学生も陸軍病院に慰問に行きました。たくさん傷病兵が戻ってくるのを見ているわけです。これからどれだけの人が「出征」といって戦地に連れて行かれるのか。「もしかしたらうちの人も…」といった心配は、庭の立ち話でも聞かれました。緊張感が満ちてるわけです。

一しかし、家族が表だって「戦地に行つてほしくない」と口に出せるような時代ではなかった。

冗談じゃないですよ、そんなことを言ったら、ただちに「非国民」と連れて行かれますよ。出征兵士を送る会にも、母親たちは

白いおそろいのかっぽうを着て「大日本婦人会」とか書かれたたすきを掛けて動員されるんです。祝い酒をスルメで飲んで「万歳、万歳」と言うけれど、裏では泣いていた。「絶対に生きて帰っておいで」と息子に言ってね。

敗戦は迫り絢爛と牡丹咲き乙女らは  
 焼き米をかすか食みろし  
 (一九四五年の歌集 雨島より)

「戦争放棄」の国を教へし日のわれを  
 思ふ初老となりし君らと思ふ  
 (一九〇三年の歌集 九花より)

軍国の少女のわがが旋盤をまはしつ  
 うたひぬし越後獅子あはれ  
 (一九〇六年の歌集 澤庵の戀より)

ジュラルミンの熱き切子を返り血のや  
 うに浴びて造りし特攻機エンジン台座  
 (一九四八年の歌集 あき子けいけいより)

◆ 「忘れがたい」開戦5カ月目の本土空襲

— 傷痍軍人の慰問のことは覚えていますか。

足を切断された人を支えながら陸軍病院の庭を一緒に回ったり、ベンチに腰かけてお話ししたり。「戦地のことは聞いてはならない」と言われていたので「お国はどこですか」とか、当たり障りのないことをね、お手紙をもらったり、出したりもしました。



友人と写真に納まる馬場あき子さん(左) =

提供写真

戦地に「慰問袋」も送りましたね。袋を縫って、親が買ってくれたようかんや缶詰、手ぬぐい、千人針などと「兵隊さんありがとう」と書いた手紙を入れて。年2回くらい作りました。

— 開戦翌年、42年4月18日に国内主要都市を初めて米軍機が襲った「ドーリットル空襲」も記憶に残っているそうですね。

お昼ごろ、国語の時間に空襲警報が鳴ったんです。また訓練だと思ったら、先生が「空襲警報は本当だから、皆さん用心なさい」と言って教員室に駆け出していった。われわれも飛行機の音は聞いたの。それで地震でもないのに机の下に潜ったの。先生が帰ってきて「思いがけなくアメリカの小編隊が飛行機で東京を空襲したが、強烈な高射砲隊が追っ払い、すぐ尻尾を巻いて逃げていった」と。

それまで日本は中国に侵攻していたのに、逆に攻めてこられるとは考えていなかった。ところが、アメリカとの開戦5カ月もないのに空襲があった。忘れがたいですよ。

高田馬場の自宅に帰ると、母親が「早稲田の方で、ものすごい音がしたのよ」と言います。後から聞いた話ですが、数軒が爆破されて死人もけが人も出て火事もあったけど、瞬く間に消し止められて、更地になった。かん口令が敷かれたそうです。だけど「絶対、内緒よ」と言って話は広がっていく。ある学校の校庭には機銃掃射の痕がポンポンと付いていたとか、いろいろ聞きました。いつ来るか分からない空襲は怖いもんだと思いましたね。

— 戦況が厳しさを増す中、44年春から学徒動員で現在の東京都武蔵野市にあった「中島飛行機」の軍需工場に動員されます。

6尺(約1.8メートル)の大きな旋盤を回して飛行機のエンジンの台座を造りました。30、40代の熟練工は、私たちに技術を教え終わった途端に、召集令状が来て出征していく。われわ

れは寮に入り、24時間を三交代で8時間ずつ、機械を回しました。

「(飛行機の)エンジンが止まって海に落ちたら、お国がどれだけ損するんだ」と叱られ、神主さんが来ておはらいもしていました。「精神がなくなっておらん」と気合を入れられて、鉢巻きをしてやっていたんです。

ジュラルミン(アルミニウム合金)を削ったり、面を取ったり、穴を開けたりしました。火のように熱い切りくずが飛んできて、手や腕も年中、やけどだらけ。ずっと立って作業しているので、足はこれ以上膨らまないぐらいに太くなっちゃう。みんな「ゾウの足」と言っていましたね。おなかが減って、鉢巻きをつないでおなかをギュッと縛って、空腹をしのいだこともありました。

◆ 「いなくなったら、忘れるほかない」消息を絶つ友

— 当時のことを詠んだ〈爆風で飛ばされし友は精神を病みて疎開し忘れられたり〉という歌があります。

巨大な飛行機工場だったので、午前、昼、午後、夜と飛行機を造る時間をなくさせるぐらいの空襲もありました。警報が鳴ったら誰よりも早く逃げなければ、どこに何が落ちるか分からない。強く揺れたりもします。頑丈な地下道へわれ先にと駆けました。

爆風に飛ばされて、その後消息なしの友もいるし、通勤途中、機銃掃射に遭った子もいる。だけど戦争の最中は、その子たちがどうなったんだろうと思う余裕はないです。いなくなったら、忘れるほかない。

友だちもまずいないですよ。1人だけ、神楽坂の家の友は、すでにお師匠さんで、休み時間に口三味線で長唄を教えてもらいま

した。「ふじむすめ えちごじし  
 した。「藤娘」や「越後獅子」

きょうがのごむすめどうじょうじ  
 「京鹿子娘道成寺」とかね。旋盤を

回しながら、心の中で唄ってね。遊芸の禁止に対する一種の抵抗ですよ。だから今も、長唄を聞くとその頃を思い出しちゃう。

最初は同じ女学校の生徒がまとまって工場に配置されていましたが、病気だなんだと欠けていく。実は、親が子どもの病気をつくって、知り合いのお医者さんに診断書を書いてもらっていたりね。するとどこからか補充される。私たちは機械のコマの一つ。時間になれば寮舎に戻り、6畳間に5、6人で入れられ、夜は洗濯や掃除。家やお母さんお父さんの話をする暇はなかったですね。— まして恋なんて…。

恋は厳禁。学校からも「工員さんと親しくなってはいけません」と言われました。彼らはやがてお国の役に立つ人だからと。必ず召集されちゃうから、恋愛関係になったらお互い不幸だと心配したんでしょう。



幼少期から結婚までの馬場あき子さんの

写真

— 終戦の年、空襲で自宅が焼失しました。

45年4月13日のことです。その前の3月10日の東京大空襲は工場にいて、武蔵野から下町の空が真っ赤に燃えているのを見ました。東京が全滅したんじゃないかと思うぐらい。翌日、高田馬場の自宅の様子を見に帰ったんですが、その時は自宅は無事でした。

その後、学校を卒業して代用教員になろうと思ったのですが、やめて日本女子専門学校（現・昭和女子大）に入りました。空襲の時はたまたま家にいました。

空襲になると、父たちは火消しの役に動員されるんです。その日、私は防空ずきんを水に浸してかぶり、母の手を引いて戸山ケ原（新宿区）の陸軍の高射砲陣地に逃げました。反対方面に行った人は機銃掃射に遭って神田川で死んだ人もいたそうです。

翌日、家に戻って母が埋めていたヤマノイモを掘り出すと、ほかほかになっていておいしかったですよ。でも、国家は機能麻痺していて、何にもしてくれやしないですよ。商店街に残っていた人たちが食べ物や着る物を持ってきてくれて、間貸しをしていた家の6畳間に一家で入れてもらった後、お年寄りが1人で暮らす一軒家に同居することになりました。

#### ◆新古今集の女性歌人たちも「戦争で傷を負っている」

—そして迎えた終戦。玉音放送を聞いた後、灯火管制から解放されたよ。

た

「堪え難きを堪へ、忍び難きを忍び」というような言葉は聞

こえました。父が「戦争が終わったらしい」って言うので「終わったんだな」と思った。でも、そのとき、私たち16、7歳なんだけど、うれしいとか、悲しいとか、感情がないの。電気つけていいのかなとか、直接的な考え方になっちゃうわけ。

#### しゃへい

夜になって「電灯の 遮 蔽 幕を外していいんじゃないの」

「でもよそをちょっと見てから」ってなって外を見ると、焼け野原にぼつんぼつんと明かりが見えるわけ。「みんな外してるよ」「そいじゃ、外してみようか」と。60ワットの電灯だけど、100ワット以上あるんじゃないか、どきんとするくらい明るかったですね。

すると誰かが、近くの焼け残った家の2階の出窓に腰掛けてギターだかウクレレだかを弾き始めた。すぐに近くで「非国民」って誰かが怒鳴って、終わっちゃった。終戦といっても、いきなり音楽を奏でるのは、不心得だと思った人がいたのではないでしょうかね。

それから、さすがに女学校5年生ですからね、天皇はどうするんだらう、と思いましたよ。そんなこと言うと「黙れ、黙れ」と禁句みたいな感じでしたけど。

—その後、国文学を学び、教員の道へ。55年に初の歌集を出しました。

平安朝から中世にかけてが専門でした。その中で、例えば鎌倉初期の新古今集を見ると、源平騒乱の後なので戦後歌集なんです。新古今集に歌を採られた女性歌人たちは、必ずといっていいほど戦争でさまざまな傷を負っている。私の世代と一緒になんですよ。

新古今集はそんなふうを読むと、別の面白さがあります。編さんに携わった藤原定家は

#### こうせいじゅうわがことにあらず

「紅 旗 征 戎 非 吾 事」(旗をたなび

かせて外敵と戦うようなことは、私に関係ない)と日記に書いて、言葉に執着した。京都としては、鎌倉に政権を取られちゃって、優位に立てるのは言葉や文化しかない。鎌倉を威圧するためにね。これも新古今集の面白いところ。

1928年	1月	東京府豊多摩郡井荻町(現在の杉並区)で生まれる……	
34年	2月	母・静子死去	
	4月	西巣鴨第五尋常小学校(現・豊島区立池袋小学校)に入学	
36年	2月	二二六事件	
40年	4月	昭和高等女学校(現・昭和女子大中上部)に入学。初めて短歌10首を作る	
41年	12月	太平洋戦争が始まり、定期試験を中止して「開戦の詔勅」を聞く	
44年	4月	中島飛行機武蔵製作所に動員される	
45年	4月	空襲で自宅全焼。校舎が全焼した日本女子高等学院(現・昭和女子大)に入学	
	8月	終戦	
47年	1月	短歌結社「まひる野」に入会	
48年	3月	日本女子専門学校(現・昭和女子大)卒業	
51年	5月	文京区立第五中学校の教師となる	
52年	12月	歌人・岩田正と結婚……	
55年	5月	第1歌集「早苗」を出版	
60年	6月	改定日米安全保障条約が発効	
69年	3月	平安末期-鎌倉初期の女性歌人の生涯をたどる「武子内親王」刊行	
77年	3月	都立赤羽商業高校を退職、教員生活を終える	
78年	3月	現代短歌女流賞受賞	
	5月	岩田正と創設した短歌結社「歌林の会」の歌誌「かみん」創刊	
86年	4月	川崎市教育委員に就任	
94年	11月	紫綬褒章受賞	
2003年	6月	日本芸術院賞受賞	
17年	11月	岩田正死去	
19年	11月	文化功労者に選ばれる	
21年	4月	旭日中級章受賞	
	9月	「馬場あき子全集」出版	

—馬場さんの歌集を読むと題材は戦争体験のほか、父への思い、身近な暮らしなど多岐にわたりますね。

生活の周辺、つまり身近なものは、とっても大事だから、変化があったら当然見ますよね。若者の背が高くなって脚が長くなっていることとか、ITの達者の人には、追いつききれないこともありますけど。

最近の若い人の歌も見ます。なんだか傷つくことばかり心配しているようだし、ちょっと悪口を言われたら傷つく。でも傷ついてもいいじゃない。われわれも満身創痍でやってきたんだから。もっとも、住むところがあって、映画やお芝居見て、人と話し合っって、と若い人がもう少し、ゆとりをもって日々を過ごすお金を持てる社会にしないとイケない。

#### ◆「ロシアや中国が憎い、憎いと変な怒り」

—馬場さんがお若い頃は、60年安保闘争にも参加したのですね。

60年安保の時は、文京区の中学校で持ち回りの「婦人部長」をやっていた。おかげでいろんな会合に出て、いろんな人と友だちになり、旗を持って、デモにも行った。国会前などにね。動員されてデモが終わって現地解散した後も、何人かの先生と「行こう」といってどこかのデモを見にいったりね。

60年安保にはまだ夢があった。一般の人が、歩道橋の上からデモ隊に向かって、紙吹雪を歌舞伎の花と同じようにまいて「か

んばれー、がんばれー」と声を掛けてね。紙吹雪もちゃんと売っていた。あれはまあお祭り気分もありました。



戦時中の様子を話す歌人の馬場あき子さん

## かんば

一闘争さなかの60年6月、東京大生の 樺 美智子さん

が22歳の若さで亡くなった。

デモも初めのうちは「安保条約を止めなかったら、日本は永久にアメリカの属国になっちゃう」と思っていました。だから本当に止めるつもりでいました。だけど樺美智さんが亡くなった国会南門突入の頃から敗北感というか「自分たちがこんなデモなんてやっても止められないんだ」と、だんだん自覚していくのよね。ただ意思表示としてデモをやっているだけなんですからね。

私たちの教え子がやっていた70年安保になると、学生もいくつかに分裂して、どうにも負け戦でした。安保条約がやめられる訳ないじゃないですか、国と国とが手の届かないところで決めているんだから。

—日本はアメリカの属国になってほしくない、という気持ちはどこから。

愛国心とも違ってね、ある一つのイデオロギーとか方向性でもって、統一されたくないってこと。自分の自由な存在感を楽しめるっていう思い。幼稚で単純だったと思う。しかしそれが、一つの大きい趨勢をなしていた。

いま、戦前と同じような雰囲気があるんですよ。みんなの目がロシアや中国に集まって「憎い、憎い」と変な怒りになっている。ただ昔と違うのは、日本の現状を見つめて、無力感から、日和る気持ちが大きい。日本が戦争をしないためには、どうすればいいのかを考えることが大事なんじゃないかしら。

## 終戦からきょうで77年 各地で戦没者追悼の催し

NHK2022年8月15日 4時37分



終戦から15日で77年です。戦没者を追悼し平和を祈念する催しが新型コロナウイルスの感染防止対策を図りながら全国各地で開かれます。

終戦の日の15日、東京の日本武道館では政府主催の全国戦没者追悼式が開かれ、岸田総理大臣が式辞を述べたあと、正午の時報に合わせて全員で黙とうをささげます。

そして天皇陛下がおことばを述べられたあと、参列者が式壇に花を手向けて、戦争の犠牲になったおよそ310万人を追悼します。新型コロナウイルスのいわゆる第7波に見舞われる中、参列者の数はことしも大幅に制限されます。

厚生労働省によりますとことしは4つの府と県が参列を見合わせます。

付き添いや来賓もあわせた参列者の数は、過去最少だった去年の185人よりは増えるものの、ことしはおよそ1000人と、例年と比べると5000人ほど少なくなる見通しです。

参列者の高齢化も進み、8割近くが70歳以上となっていて、このうち最年長となる広島県の95歳の男性は戦地で亡くなった兄のため参列する予定です。

戦争を直接知る世代が少なくなる中、その記憶を受け継ごうと、式典には最年少の遺族として戦没者のひ孫にあたる7歳の小学生も参列する予定です。

式典の様子はYouTubeでも同時配信されます。

15日はこのほかにも全国各地で戦没者を悼み平和について考えるさまざまな集会や催しが開かれます。

## 本土決戦に備えた「国民義勇戦闘隊」 新資料見つかる 和歌山

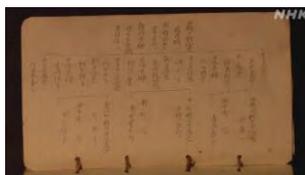
NHK2022年8月15日 6時43分



終戦直前の昭和20年、本土決戦に備えて女性や少年を含めた一般国民が戦闘員となる「国民義勇戦闘隊」という部隊が各地でつくられました。

この部隊が組織化されていく過程を記した資料が和歌山県で新たに見つかり、専門家は「当時の態勢が詳細に残された全国的にも貴重な資料だ」と指摘しています。

「国民義勇戦闘隊」は、終戦直前の昭和20年6月に施行された「義勇兵役法」に基づき、女性や少年を含めた一般国民が戦闘員として動員され、本土決戦への備えとして各地でつくられました。当時の資料の多くは終戦直後に焼却処分され、詳細な記録はほとんど残されていないとされてきました。



こうした中、和歌山県広川町で空き家となっている住宅から当時、この家に住んでいた旧・廣村の津村嘉一郎村議会議員が書き残したとみられるメモや日記が見つかりました。

「国民義勇戦闘隊」について、村をあげて編成された部隊の結成式が神社で行われたことや、陸軍の師団長の訪問を前に隊員名簿の整備や竹やり訓練などが行われ、急速に戦闘態勢が構築されたことが記されています。

戦闘隊の編成表には、当時の村長をトップに地区ごとの部隊が詳細に書かれていて、幹部に女性の名前が並ぶなど、多くの村民が戦闘員として動員された状況がうかがえます。

この住宅を所有している親族が発見し、今月、専門家による調査が行われ、貴重な資料であることが分かりました。



調査を行った学習院大学の齊藤利彦教授は「女性の部隊の記述も含めて当時の態勢などが詳細に残された全国的にも貴重な資料で、和歌山県でも本土決戦に向けた準備が周到に進められていたことが明らかになった資料だ」と話しています。

### 西村経産相が靖国参拝 岸田内閣の閣僚で初

東京新聞 2022年8月13日 12時25分 (共同通信)



靖国神社へ参拝に訪れた西村経産相(左) = 13日

午前、東京・九段北

西村康稔経済産業相は13日午前、終戦の日の15日に先立ち、東京・九段北の靖国神社を参拝した。昨年10月の岸田内閣発足後、閣僚の参拝が確認されたのは初めて。西村氏は今月10日の内閣改造で入閣した。

参拝後、記者団に「故安倍晋三元首相のことも思いながら、日本の平和と発展のために全力を尽くす決意をした」と述べた。西村氏は自民党安倍派に所属している。

玉串料を私費で納め「衆議院議員西村康稔」と記帳したと説明。「戦後日本の繁栄は先人の犠牲の上に築かれている。二度と戦争の惨禍を起こさず、平和国家の道をさらに発展させると誓ってきた」と強調した。

### 西村経済産業大臣が靖国神社に参拝

NHK 2022年8月13日 11時11分



15日の「終戦の日」を前に、西村経済産業大臣は13日、東京・九段の靖国神社に参拝しました。

西村経済産業大臣は13日午前、靖国神社に参拝し、私費で玉串料を納め、「衆議院議員 西村康稔」と記帳しました。

西村大臣は、参拝を終えたあと、NHKの取材に対し、「英霊の安寧を心から祈った。銃撃されて亡くなった安倍元総理大臣にも思いを致し、今後の日本の平和と繁栄に全力を尽くすことを誓った」と述べました。

西村大臣は、菅内閣の経済再生担当大臣だった去年も「終戦の日」の前々日に参拝し、安倍内閣の経済再生担当大臣だったおとしは「終戦の日」の翌日に参拝しています。

去年10月に岸田内閣が発足してから、閣僚の靖国神社への参拝が確認されたのは初めてです。

### 西村経産相の靖国参拝に抗議 中国外務省「誤った態度」

日経新聞 2022年8月15日 0:15 (2022年8月15日 0:22更新)

【北京=共同】中国外務省の汪文斌副報道局長は14日、西村康稔経済産業相の13日の靖国神社参拝について「A級戦犯が合祀(ごうし)されている靖国神社を参拝することは日本政府の歴史問題に対する誤った態度を示している」と述べ、日本側に抗議の申し入れを行ったことを明らかにした。中国外務省が発表した。汪氏は「日本側が侵略の歴史を直視し、深く反省し、実際の行動でアジアの隣国や国際社会の信頼を得よう促す」などと指摘した。

### 終戦の日、閣僚の靖国参拝焦点に A級戦犯合祀

東京新聞 2022年8月13日 19時00分 (共同通信)



2020年8月15日、靖国神社を参拝した高市総

務相(当時) = 東京・九段北

第2次岸田改造内閣の閣僚らが15日の終戦の日に、極東国際軍事裁判(東京裁判)のA級戦犯が合祀されている靖国神社に参拝するかどうか注目されている。10日の内閣改造で入閣した高市早苗経済安全保障担当相は昨年と一昨年の8月15日に参拝したことが確認された。今回、閣僚が参拝すれば3年連続。昨年10月の就任後初めての終戦の日となる岸田文雄首相は、自民党総裁として私費で玉串料を奉納する方向で調整している。

終戦の日を巡っては、昨年の菅内閣当時の萩生田光一文部科学相ら3閣僚が参拝した。

一昨年は安倍内閣で当時の高市総務相や萩生田文科相ら4閣僚が訪れた。

### 保守派の鍵握る萩生田氏 自民・安倍派から政調会長〈政界探見〉

信濃毎日新聞 2022/08/14 09:01

#### ■首相が信頼 派内世代間闘争恐れも

今回の内閣改造・自民党役員人事で、最大派閥安倍派の処遇が焦点の一つとなった。領袖(りょうしゅう)だった安倍晋三元首相の死去後、岸田文雄首相(党総裁)がどう対応するかに注目が集まり、結果は党四役の政調会長と4閣僚に起用。その中で、今後のキーマンと目されるのが、安倍氏の最側近だった萩生田光一・新政調会長だ。同派を含む保守派の「抑え役」を期待されての起用は、一方で派内の世代間闘争を誘発し、党の権力バランスに影響を与える可能性もはらむ。

「総裁にならって『聞く力』を発揮し、時には『聞かない力』も発揮しながら、結果を出すことに全力を尽くしたい」。萩生田氏は10日の就任記者会見でこう強調した。

2003年衆院選の初当選から一貫して安倍氏と政治行動を共にし、第2次安倍政権の発足以降は官房副長官、文部科学相などを歴任。森喜朗元首相や麻生太郎副総裁、茂木敏充幹事長とも良好な関係を築き、多くの関係者が「安倍氏は萩生田氏を自身の後継と期待していた」と口をそろえる。

先の参院選中に安倍氏が銃撃され亡くなると、安倍派の後継体制を巡り、幹部7人の「集団指導」を主張。ベテラン議員らの巻き返して実現しなかったが、同派の次世代を担う一人として存在感を示した。今回の内閣改組・党人事でも、正規ルートの塩谷立会長代理とは別に、首相側との実質的な調整役を務めた。

萩生田氏の処遇で、首相は経済産業相に留任か、党四役に横滑りか、ぎりぎりまで悩んだようだ。原発再稼働などに向けて省内から続投を期待する声が寄せられる一方、麻生氏らは政調会長や選対委員長など党側での起用を求めているためだ。

「いずれにしても支えてほしい。最後は私が決める」。こう本人に伝えていた首相の提示したポストが政調会長だった。

2人の関係の始まりは安倍政権時までさかのぼる。将来の首相候補として「岸田人気」が伸び悩む中、当時の「安倍1強」を支える一人だった萩生田氏にアドバイスを求めたことがきっかけという。時折厳しい指摘も交えてこれに応じたことが、逆に首相の信頼獲得につながったとみられる。

もっとも、今回の人選では、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の存在も、背景に見え隠れする。自党内では、安倍派と教団の関係が特に目立つ。萩生田氏も関連イベントであいさつしたことを認めた。「今回の人事は『統一教会隠し』の一点だ。首相は萩生田氏を答弁責任のないポストに避難させたのだろう」。野党からはこんな皮肉が漏れる。

党の政策責任者として、萩生田氏は早速、難しい調整を迫られることになりそうだ。衆院小選挙区定数の「10増10減」を実現する公職選挙法改正案について、首相は今秋の臨時国会で成立を目指す。党内の異論は根強い。年末には国家安全保障戦略などの改定が予定され、保守派を中心に防衛費の増額圧力が強まることも予想される。

一方、萩生田氏の四役入りは、安倍派の結束に微妙な影を落とす。政界で衆院当選6回は中堅扱い。多くの先輩議員を差し置いての抜てきには、嫉妬交じりの厳しい視線が注がれる。

100人近い議員集団の足並みが乱れれば、党内の不安定化は避けられない。萩生田氏もそのことを自覚。8日の記者会見で異例の「経産相続投」要望を口にしたのは、政調会長への起用が「あくまで首相の判断」であることを、派内向けにアピールするためでもある。（雅）

## <シリーズ評論 安倍元首相銃撃事件の波紋> 1 民主主義脅かす「不満」 東大名誉教授・御厨貴氏（71）

北海道新聞 08/14 17:42 更新



みくりや・たかし 東京都生まれ。東大卒。東大先端科学技術研究センターフェロー。専門は近現代日本政治史。政治家らの証言を記録する「オーラルヒストリー（口述歴史）」の第一人者で、政府の東日本大震災復興構想会議の議長代理などを歴任した。

日本の近代は、政治テロが繰り返された歴史と言える。相手の

主張を止めるには殺してしまうことが最も効果的だとして、幕末には暗殺が横行した。明治憲法下の帝国議会開設後にテロの数は減ったが、戦時体制に突入する過程で五・一五事件や二・二六事件が起きた。

戦後日本は議会制民主主義に立ち、保守代表の自民党と革新代表の社会党による「55年体制」が築かれた。この仕組みは多様な意見をどちらか一方に集約させ、言論戦を決着させる機能があり、テロへの抑止力ともなった。浅沼稻次郎社会党委員長刺殺など重大事件もあったが、少なくとも首相級が実際に暗殺される事態は起こらなかった。

安倍晋三元首相という、影響力のある政治家の命を参院選の演説中に奪った今回の事件は、深刻な政治テロだ。戦後築いてきた言論の「土俵」の外に出てしまった。議会制民主主義への冒涜（ぼうとく）だ。

55年体制下で何とか保たれてきた安定が今、崩れつつある。高度経済成長に支えられた当時と異なり、生活が良くなる実感がないまま低成長が続き、格差が拡大している。冷戦終結後、国際情勢も混迷し、民族主義の噴出や中国の台頭、ロシアのウクライナ侵攻が重なる中、内政も外交も出口が見えなくなっている。日本には行き詰まり感が漂い、暴力的な爆発につながりやすくなっている面が事件の背景にあることも否めない。

頼みの言論も、交流サイト（SNS）の登場で、揚げ足とりや断定的な主張がはびこり、国会論戦にも表れている。「政治では解決されない」という不満があらゆる層の人たちにある。答えは容易には出ないが、こんな時こそ暴力でなく、言論を信じたい。政治家を含め、さまざまな人たちが日本をどうするべきか真剣に考え、不安を取り除く将来像を描くプロジェクトが必要だ。

事件が岸田文雄政権に与える影響は大きい。容疑者が動機に挙げる世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と政治家との関係は今後、日本の政治全体を揺るがす問題になりかねない。「安倍氏の遺志を継ぐ」として自民党右派が主張を強めるとみられる中、安倍氏を失った岸田氏が、党内をまとめられるかも見通せない。

岸田氏はこれまで、安倍氏との政治的な距離感から中道を演出することができた。今後、何を軸に政権運営していくのか。その真価が問われることになる。

（聞き手・金子俊介）



安倍晋三元首相が7月8日、参院選の応援演説中に銃撃され死亡した事件は、発生から1カ月余りがたった今も波紋を広げ続けている。事件は日本の社会や政治に何を突きつけたのか。各分野の論客に聞く。（随時掲載します）

## <シリーズ評論 安倍元首相銃撃事件の波紋> 2 「政治的功罪、別に考えて」 作家・高村薫氏（69）

北海道新聞 08/14 17:53 更新



たかむら・かおる 大阪生まれ。国際基督教大卒。

1990年に「黄金を抱いて翔(と)べ」で作家デビュー。93年「マークスの山」で直木賞、2017年「土の記」で野間文芸賞など受賞多数。政治や社会の問題に関する時評なども多く執筆している。

政治家への襲撃とは、彼らの政治信条への反対を表明する最も直接的な方法だが、今回私の中で政治テロという発想はすぐ消えた。「宗教団体に恨みを抱き、団体とつながっていると考えた安倍晋三元首相を狙った」とする容疑者の供述が早い段階で報じられたからだ。政治的なものではなく、個人的な恨みの象徴のように思っていた人間が目の前に現れ、警備が不十分だったために起きた事件といえるのではないか。だが選挙応援演説中の襲撃について、テレビも新聞も条件反射のように「民主主義への挑戦」「言論封殺」と報じ、非常に違和感を感じた。

安倍政権時代、安倍氏を含め与党の政治家たちが民主主義をないがしろにする場面は多かった。安倍氏も森友・加計学園を巡る疑惑について、追及されても虚偽の答弁を繰り返し、挙げ句に財務省の公文書改ざん問題まで起こった。憲法に基づき野党が臨時国会召集を求めても、はねつけた。今回の事件を受け、そうした与党議員からも民主主義を危ぶむ声が上がったことに、どの口が言っているのかと気持ち悪さを感じた。

日本では死者にむち打つなどの風潮が強いが、事件と安倍氏の功罪は分けて考えることこそ民主主義国家のあるべき姿ではないか。

元首相が銃撃され命を失うという事件に国民が興奮状態にあった中、岸田文雄首相は突如、国葬を決めた。なぜ国葬なのか、なぜ自民党葬ではダメなのか。法的根拠もなく納得いく説明もできていない。国葬は首相が党内運営のため言い出したにすぎず、そこに税金を使うこと自体おかしい。

報道によれば、容疑者は母親の世界平和統一家庭連合(旧統一教会)への入信で家族が崩壊したと供述しているという。信者からの過剰な献金など深刻な被害があったことを、長い間自分も忘れていたことに気づかされた。犯行は決して容認できないが、いわゆる宗教2世がこれほど孤立し、追い詰められているのかと大きなショックを受けた。

深い絶望や孤独感を抱き、その自分の状況について一方的に「憎むべき象徴」を見だし、憎悪を募らせた末の犯行だとすれば、2019年の京都アニメーション放火殺人事件や21年の大阪・北新地のビル放火殺人事件にも通じるのではないか。日本社会は一度疎外され落ちてしまうと、はい上がるのが非常に難しい。いずれの事件も、そんな社会のありようが底流にあるように感じる。この構造が変わらない限り、同様の事件が起きる可能性はある。

すぐ解決策があるわけではない。ただ、生きづらさや不満、孤独を抱える人々の声にもっと社会全体が聞く耳を持つべきではないか。(聞き手・根岸寛子)

## 国会議員 106 人に接点 8 割は自民、旧統一教会

日経新聞 2022 年 8 月 14 日 0:10



世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との関係を巡り、共同通信が全国国会議員 712 人(1 人欠員)を対象としたアンケートで、関連団体のイベントに出席したり、選挙協力を受けたりした接点のある議員が 106 人に上ることが 13 日、分かった。

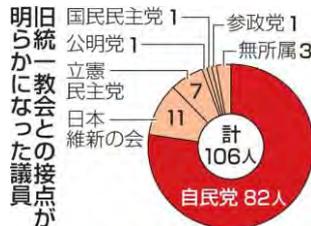
自民党議員は 82 人で 8 割近くを占めた。教団が自民党を中心に政界に幅広く浸透している実態が改めて明らかになった。内閣改造で入閣の際に関係を認めた議員もおり、今後増える可能性がある。秋の臨時国会で焦点になりそうだ。

アンケートには 12 日までに 583 人が回答した(回答率 81.9%)。岸田文雄首相は 10 日に内閣改造して刷新を図ったが、閣僚 7 人と副大臣、政務官計 20 人が教団側と関わりがあることが判明した。

このうちアンケートで関係を認めたのは副大臣、政務官の計 12 人のみだった。旧統一教会の担当者は「コメントする立場にはない」としている。

アンケートでは教団やその友好・関連団体との関係を質問した。①献金やパーティー券購入②選挙活動の支援③イベント出席や祝電——の有無を尋ねた。複数項目で「ある」と答えた議員もいた。

林芳正外相や高市早苗経済安全保障相が受けた、教団と関係が深いとされる世界日報の取材や、教団関連の月刊誌の対談については質問に含まれていない。岸田首相は回答を寄せなかった。関係があると答えた議員の党派別は自民党 82 人、日本維新の会 11 人、立憲民主党 7 人、公明党 1 人、国民民主党 1 人、参政党 1 人、無所属 3 人。



政治献金を受けたと回答したのは、自民党の下村博文元政調会長と国民民主党の玉木雄一郎代表の 2 人で、いずれも 2016 年に世界日報側から受けたという。パーティー券購入は、20~21 年に計 8 万円分と回答した末松信介前文部科学相ら 13 人だった。選挙支援を受けたり、申し出があったりしたのは 30 人で、多くが「申し出を受けて電話かけや会合の動員をしてもらった」と回答した。

イベントの出席は 71 人、祝電などの送付は 43 人。「日ごろから多くの企業や団体とお付き合いをしている」「地元有権者からの案内で参加した」と説明する一方、「見直す必要がある」「慎重かつ厳正に対応する」との記述があった。

退任した閣僚では前経済産業相の萩生田光一氏や前防衛相の岸信夫氏らが接点を認めた。[共同]

## 統一教会関わりの国会議員、1 都 3 県で 22 人 16 人は自民 甘利氏イベント出席、萩生田氏会合であいさつ

東京新聞 2022 年 8 月 14 日 06 時 00 分



世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の本部=東京

京都渋谷区で

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関係について共同通信が全国国会議員を対象に行ったアンケートで、東京、神奈川、千葉、埼玉の4都県の153人のうち22人が「献金やパーティー券購入」「選挙活動の支援」「イベント出席や祝電」のいずれかの関わりを持っていたと回答した。

22人の党派別の内訳は、自民が16人で7割超を占めて最多だった。立憲民主3人、日本維新の会2人、無所属1人と続いた。

すべて「ない」と回答したのは93人。26人は無回答。9人は3つの質問すべてに「分からない、答えられない」と回答した。残る3人は一つの質問に「分からない、答えられない」と答えた。

#### ◆深い関係は軒並み否定も…

世界平和統一家庭連合との関係を尋ねる共同通信のアンケートに、1都3県の22人の国会議員が政治献金や選挙支援などの関わりがあったと認めた。ただ「1度だけ会合に行った」「祝電を送ったが一般的ななもの」などと深い関係は軒並み否定。「分からない、答えられない」と答えた議員や無回答の議員も少なく、依然として不透明さが残る。（加藤益丈、太田理英子）

「地元から『経済安全保障とは何か』について講演してほしいと依頼があり、一度だけ行った」。自民党の甘利明前幹事長（衆院比例南関東）は、教団の関係団体が主催するイベントに今春出席したことを認めた。ただ「過去に付き合いは一切なく、祝電など送ったこともありません」とその他の関係は否定した。

萩生田光一政調会長（衆院東京24区）は2014年、地元支援者の依頼で出席した会合の冒頭であいさつし、同年の別のイベントに後援会役員が、17年のイベントに秘書が出席したという。祝電を数回送った可能性もあるとしたが「盛会をお祝いする一般的なものだった」とした。

下村博文元政調会長（衆院東京11区）は教団と深い関係とされる世界日報の社長から16年に献金6万円を受けたとの従来の説明を繰り返した上で「友好・関連団体に出席したことはない」と強調した。

#### ◆元埼玉県知事も、立憲民主党議員も

前埼玉県知事の上田清司参院議員（参院埼玉選挙区）は1988～89年に旧統一教会系の政治団体「国際勝共連合」の役員だった元衆院議員から支援を受けるなどしたが、知事就任直後の2005、06年に自民県議の依頼で特別秘書がメッセージを送った後は関わりはないとした。

立憲民主党の小宮山泰子衆院議員（衆院比例北関東）は06年、ビデオメッセージや祝電を送ったが「統一教会と別の有志会合」との認識だったとし、「恥ずべきもので申し訳なくおわびします」とした。

◆「分からない、答えられない」は全員自民 似通った回答文  
アンケートの3項目すべてに「分からない、答えられない」と回答した9人は全員が自民党の衆院議員。教団との関係が指摘されている議員もいる。

旧統一教会問題を取材してきたジャーナリスト・鈴木エイトさんによると、このうち山本朋広議員（衆院比例南関東）は17年に都内で教団が開いた集会に来賓として出席。「自民党に対して

大変大きなお力を頂いている」とあいさつし、総裁・韓鶴子氏を「マザームーン」とたたえたとされる。

山本議員に加え、山際大志郎経済再生担当相（衆院神奈川18区）と、山田美樹（衆院東京1区）、鈴木隼人（衆院東京10区）、小田原潔（衆院東京21区）、坂井学（衆院神奈川5区）、星野剛士（衆院比例南関東）の5議員は「多くの個人、企業や各種団体とお付き合いをしているところであり、相手方もあることなので個別の問い合わせには回答していません」「政治資金につきましては、収支報告書をご確認ください」などと似通った文章で回答した。

山際担当相は教団との関係について回答を避けてきたが、大臣留任が発表された10日の会見で関連団体のイベントへの出席と会費支出を認めている。

#### 自民の政策に旧統一教会の影響は？ 首相「不当な影響ない」と言うけれど…教団側は「手を合わせてきた」

東京新聞 2022年8月13日 06時00分

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と現職閣僚を含む自民党議員との関係が次々と明らかになっている。両者の関係が自民党の政策に影響を与えたか問われた岸田文雄首相（党総裁）は否定したが、教団の田中富広会長は「より良き国づくりに向けて手を合わせてきた」と語っている。（金杉貴雄）

岸田首相は10日の第2次岸田改造内閣の発足に合わせた記者会見で、選択的夫婦別姓やLGBT（性的少数者）、改憲の内容などを巡り、旧統一教会の主張が自民党の政策に影響を与えてきたか問われ「自民党ではさまざまなプロセスを経て政策を決定している。旧統一教会の政策が不当に自民党の政策に影響を与えたとは認識していない」と発言。「不当に」と留保をつけながらも否定した。

田中会長も10日、日本外国特派員協会での記者会見で、同じ内容の質問を受けた。

田中氏は「影響を与えてきたかは、客観的に多くの皆さまに判断してもらった方がいい」とした上で、「友好団体が政治に強い姿勢を持って関わってきたのは事実だ」と話した。

政策への影響に関する岸田首相と旧統一教会の答え

質問 選択的夫婦別姓やLGBT、改憲などの問題で、旧統一教会が自民党に影響を与えてきたか？

岸田首相 自民党では幅広く国民の皆さんの声を聞き、関係省庁の説明、有識者や専門家との議論とさまざまなプロセスを経て政策を決定している。旧統一教会の政策が不当に自民党の政策に影響を与えたとは認識はしていない

旧統一教会側 友好団体が政治に強い姿勢で関わってきたことは事実。共産主義に明確な姿勢を持っている政治家とはともにより良き国づくりに手を合わせてきた。私たちの基本姿勢は共産主義との対峙(たいじ)で、その視点から自民党の議員がより多く接点を持つと思う

※いずれも10日の記者会見。旧統一教会側は名称変更した「世界平和統一家庭連合」の田中富広会長

その上で「私たちは共産主義と対峙している。その点から言うと、自民党の議員の方々とより多くの接点を持つ。政治工作という意味ではなく、より良き国づくりに向かって手を合わせてきた」と自民党議員との協調関係を強調した。

## 旧統一教会批判の「危うさ」 ある僧侶が口にした懸念

毎日新聞 2022/8/14 11:00 (最終更新 8/14 11:00)



教団の中にいる人と社会との「分断」について

懸念を語る瓜生崇さん＝京都市下京区で 2022 年 7 月 25 日午後 4 時 5 分、花澤茂人撮影

安倍晋三元首相が銃撃され死亡した事件をきっかけに、報道やインターネットでは「世界平和統一家庭連合（旧統一教会）」への批判があふれている。逮捕された山上徹也容疑者（41）が動機として安倍氏と教団との関わりを挙げたとされるためだ。「霊感商法」や献金の強要などの問題や政治家との関わりは批判、検証されるべきだが、信者個人の人格や、旧統一教会以外の新宗教もまとめて否定するような言説も見られる。「危うさを感じます」。カルトからの脱会支援活動が続いている真宗大谷派の僧侶、瓜生崇さん（48）はそんな懸念を口にする。「長期的に見て、良い方向には進んでいない」。どういうことか、話を聞かせてもらった。

「正しさ」に苦しむ現役信者

「旧統一教会の信者はいま、すごく苦しんでいるはずです」。知人に現役信者が何人かいるという瓜生さんは、複雑な心境を明かす。「旧統一教会が無理な献金の要求など社会的な問題を起こしてきたのは間違いなく、政治との関わりも含めきちんと批判すべきです。信仰の核心部分を隠し詐欺的な勧誘をしてきたことも、カルトの重大な特徴として問題視する。ただ、信者にも層があり、こうした被害に遭わずに地道に信仰活動が続ける人もいると指摘する。「一斉にバッシングを浴び、信仰そのものが悪であるように言われることはつらいと思います」

瓜生さんがまず強調するのは…

残り 1865 文字

## 旧統一教会「訴訟減っている」のウソ そのウラにあった“返金放棄の合意書”【報道 1930】

TBS テレビ 2022 年 8 月 14 日(日) 09:00

日本の政治に根深く入り込んでいることがわかってきた世界平和統一家庭連合（以下、旧統一教会）。教団は現在ではかつてのような被害者は出ていないと釈明するが、番組では信者と教団の間で交わされた“合意書”なる書面を入手。また一つ見えてきた教団の正体について識者に聞いた。

■「旧統一教会の本質というのは、単なる宗教団体じゃない。」岸田改造内閣が発足した。総理曰く「旧統一教会との関係を点検し、厳正に見直すことを了承した人のみを任命した」。今回、教団と何らかの関わりがあったと明らかにしていた 7 人は全員交代。閣外に出ることになったが、ふたを開けてみると新しくなった顔ぶれと、残留した中で新たに関係を明らかにしたのも 7 人。萩生田氏は閣外に出たものの党 3 役となり、政府・与党の中核では旧統一教会との関係があった議員の数は減るどころか増えた。さらにその後の副大臣・政務官をみると 5 4 人中少なくとも 1 9 人（8 月 1 2 日現在）の接触が明らかになった。閣僚だけでなく自民党全体の「点検と見直し」をすればどのくらいの議員が関係

を持っていたことになるのだろうか？

国際情報誌『フォーサイト』元編集長 堤伸輔氏

「事の重大性からして点検と見直しというのは正しくない言葉遣い。まるで会社の防火設備を点検しなさいみたいな軽いものに聞こえる。必要なのは調査と解明。今回の岸田総理の人事は全く期待外れです」

国会議員だけでなく、地方議会、自治体を加えたらどこまで広がるのはわからない“教団との関係”。議員の中には関連団体とは知らなかったとする人も多いが、それでは済まされない。

全国霊感商法対策弁護士連絡会 山口広弁護士

「旧統一教会の本質というのは、単なる宗教団体じゃない。政治部門もありますし、献金を集め、いろんなところに自由に使う経済部門もあります。それからワシントンタイムスなどその他言論の部門もある。政治部門だけが関わったということはありません。私が聞いた議員さんも、よくわからなかったって言うんですけど、行けばすぐわかるんですよ。どんな挨拶してるかだけでも。文鮮明夫妻の写真だってあるし……。その人は、マズイと思ってすぐ帰ってきたと言っていました、わからなかったっていうのはあり得ないです」

全国には旧統一教会の関連の施設は 200 以上ある。その建物の入り口などに自民党議員のポスターが貼られているケースが目につく。これは一体何を意味するのだろうか…。



北海道大学大学院 櫻井義秀教授

「ポスターを外に向けて貼るといのは、この組織はこの先生にオーソライズされている、認められているんですって打ち出し方です。一般の教団の推薦の仕方とは違う」

宗教団体が票集めに協力する場合はポスターは施設内部に掲示し、信者たちの票固めに使うのが普通だという。だが、旧統一教会は、外部の目に触れる場所に掲示し、自分たちの力の誇示のために利用するというのだ。

旧統一教会にとって日本人は献金マシーン以外の何ものでもないことはこれまでも「報道 1930」でも報じてきた。教団側は政治家とのつながりを宣伝材料として信者を増やし、献金させ、資金を増やしている。結局、政治家は“自分が信者獲得に利用されている”ということに自覚すべきではないのか…。

■「金丸さんが受け入れたということで文さんが本当にメシアかも、って変わったんです。」

過去、教団が信者と献金を劇的に増やしたきっかけがある。そこにも政府自民党の議員の存在があった。1992 年 3 月。文鮮明氏が、夫人・韓鶴子氏を伴い成田空港に降り立った。アメリカで実刑判決を受けていた文鮮明氏は日本の入国禁止対象だった。だが、自民党のある大物議員の働きかけで入国が許可された。このことは信者たちの間でも話題になったという。

元日本人信者の証言

「教会内では『金丸さんがメシア（救世主）の文さんを受け入れたんだ』と」

金丸さんとは、当時キングメーカーと称されていた自民党副総裁、金丸信氏に他ならない。文さんは、もちろん文鮮明氏だ。文氏は入国後、中曽根元総理と会談するなどし、信者に向けては「私が日本に入らなかったら日本はエボ国をばく奪される場所だった」と語ったという。そして日本入国を果たしてから5か月後、文氏は「私と妻の韓鶴子女史は人類の真の父母であり、救世主・再臨主でありメシアであると宣布します」と宣言した。信者たちは思った・・・。

元日本人信者の証言

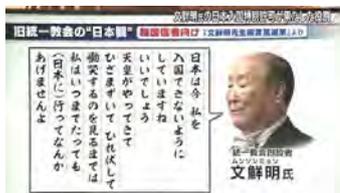
「この出来事（日本への入国許可）の前までは私も半信半疑だったんですが、金丸さんが受け入れたということで文さんが本当にメシアかも、って変わったんです。」

この1992年、日本のキングメーカーがオーソライズしたという形になり、当時の統一教会は日本人信者と献金額を大幅に増やした。その象徴として1989年1275組だった“合同結婚式”が、この年、3万組に急増している。日本の芸能人も参加したことで当時話題となった。



結果的に文氏に日本は利用された形になった日本への入国許可。しかし文氏は、日本への入国に関し、こんなことを言っていた。

「天皇がやってきてひざまずいてひれ伏して慟哭するまでは私はいつまでたっても（日本に）行ってなんかあげませんよ」彼の日本観がよく表されている。こんな人物を特別に入国させたのである。



■「あっちこっちでこの合意書

を取り付けるのに忙しくて仕方ない」

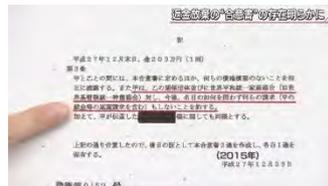
かくして信者を獲得するとともに、多額の献金による問題が後を絶たない旧統一教会。

今回、国会議員の教団との関係が取り沙汰される中で、これは政教分離など宗教問題ではなく、旧統一教会が単なる宗教団体ではなく、反社会性を持った団体であることが問題だと伝えてきた。が、内閣改造のタイミングに合わせ、旧統一教会が会見を開いた。そこで強調されたのが、2009年のコンプライアンス宣言以降、高額献金が行われないよう徹底していることだ。

世界平和統一家庭連合（旧統一教会） 田中富広会長

「民事訴訟は着実に減ってきている。1998年（ピーク）は78件だが、2022年は5件です」

だが番組では1つの書面を入手した。「合意書」とある。2015年、教団関係者と元信者との間で交わされたものだ。そこには、元信者が教団から買ったお言葉集の代金など約630万円の返金を求めたところ、203万円が解決金として支払われるかわりに、今後一切、教団に金銭を要求しない旨が記されている。



この信者は203万円をいったんは受け取ったが、納得できず訴訟を起こした。判決は「合意書は無効」とされ、この元信者は勝訴することができた。

しかし、番組が入手しただけでも、他にもいくつもの合意書が存在した。みんなが訴訟を起こすわけでもなく、多くは“泣き寝入り”の合意に至っている。そして、これによって表向き訴訟件数が大幅に減少しているとも考えられる。

全国霊感商法対策弁護士連絡会 山口広弁護士

「（合意書によって裁判を起こさせないように）組織的にやっています。当時の（教団の）総務局長、司法試験崩れの某大学出身の男なんですが、『あっちこっちでこの合意書を取り付けるのに忙しくて仕方ない』って言ってましたね。（中略）1億2億の献金に対して一部だけ返して、あとは債権債務はないという書面を交わすという手口ですよ。」

法律に詳しくなければ、交わってしまった契約書の類は有効だと信じるし、早く縁を切りたい元信者にしてみればいくらか返ってきたんだからこれで終わりにしようとする人は少なくないという。

■日本がダメなら韓国での“献金ツアー”

教団が強調するコンプライアンス順守。しかし信者からの金集めのシステムは日本ではなく目の届きにくい韓国で行われていた。それが韓国の清平にある教団へ行き金を支払う“献金ツアー”だ。インターネットの予約票には1から7、8から14など7刻みの数字が並ぶ。これは一回行けば7代毎の先祖の怨みを解くという“先祖解怨”というもののだという。一回行くと280万円を献金することになる。



全国霊感商法対策弁護士連絡会 山口広弁護士

「韓国でやっていることだから日本の教団は関係ないという責任逃れをしている。しかし違法な説得活動は日本で行われているんですから、日本の旧統一教会が責任をとるべきで、裁判所もそう認めている」

番組で調べたところ少なくとも2021年の7月までこうした“献金ツアー”の募集をしていたことが分かっている。被害は昔のことではなく、今も続いているのだ。

自民党が党をあげた調査の方向を出さない中、逆に世界平和統一家庭連合・旧統一教会の田中富広会長は会見で、これまでの自民党議員との協調関係を強調した。

世界平和統一家庭連合・旧統一教会の田中富広会長

「私たちは共産主義と対峙している。その点からいうと自民党の議員の方々とより多くの接点を持つ。政治工作と言う意味ではな

く、より良き国づくりに向かって手を合わせてきた」  
あえて今、教団側が表立って自民党との協調関係を強調した意味は何だったのか…。これに対し、自民党は毅然とした態度をとることができるのか。今後の一つの試金石となる。

(BS-TBS 『報道1930』 8月11日放送より)

## まるで「統一教会内閣」…岸田改造内閣が抱える「統一教会爆弾」 FRADAYDIGITAL8/14(日) 11:30 配信

地元広島選挙区を裕子夫人に任せ、首相公邸で岸田文雄首相は長男と暮らしている。コンビニ弁当を肴に冷えた缶ビールを数本、日本酒、ウイスキーをしたたかに痛飲しながら、内閣改造・党役員人事を練りに練った。旧統一教会という掣肘(せいちゆう)を被るようになって人選の苦心は倍増したという。

旧統一教会と関係があった7閣僚はすべて排除し、第二次岸田改造内閣は、国民の声をよく聞く清新、誠実な内閣となるはずであったのだが――。組閣したその日から、加藤勝信厚労大臣、高市早苗経済安保担当大臣、寺田稔総務相、西村明宏環境相、岡田直樹地方創生相、留任した林芳正外相、山際大志郎経済再生担当相、すでに関係を報告していた磯崎仁彦官房副長官を含め閣内の8人が旧統一教会との関係が続々と発覚。「統一教会との関係を断ち切るどころか、増えているじゃないか。呆れてモノが言えない。ことここに至っては、自民党として調査しないとした茂木敏充幹事長にも大きな責任がある。線引きが曖昧で国民の理解を得るのは難しいのではないか」(閣僚経験者) 予想通り、旧統一教会との関係が重視され内閣支持率は軒並み下落したのだ。大臣だけではなく、さらに副大臣や政務官にも広がり、永田町のトレンドワードは「たちまち、岸田統一教会内閣」と揶揄された。ちゃんと調べなかったのはまずかった、というのはあとの祭りだ。旧統一教会を長年取材してきたジャーナリスト鈴木エイト氏がツイッターに、教団広島教区三原教会の教会長、東広島教区伝道教育部長などを歴任したとされる光永一也氏と岸田首相のツーショット写真を投稿した。「写真は、パーティなどで我も我もと政治家の周りに集まり記念撮影したというモノではないようです。屋外の広場で、河川敷のようなところ。統一教会の集まりに岸田首相が参加した可能性もある。党内では、自民党の党員・党友の1割ほどが旧統一教会の信徒ではないかとさえ言われています。自民党は、骨の髄まで統一教会に浸食されてしまったのかもしれない」こう話すのは閣僚を経験した自民党ベテラン代議士だ。続けてこの代議士は、「旧統一教会が自民党総裁選挙に影響を及ぼした」と語る。安倍長期政権の端緒となる12年9月自民党総裁選は国会議員票と都道府県票総数498票、過半数は250票だった。一回目の議員、党員投票結果は、石破茂：199票(議員34票、党員165票)、安倍晋三：141票(議員54票、党員87票)と過半数を獲得できず、議員のみによる決選投票となった。そして、安倍晋三：108票、石破茂：89票となり、安倍氏が勝利を収めた。「いま自民党内では『このとき、統一教会関係議員が安倍さんに票を集中させ、逆転したのではないか』と言われています。無記名投票だったわけだから、いまさら真相は分かりません。ただ、そうした話が流れているのは事実で、なにやら得体の知れない不気味な空気に自民党は覆われてしまった」(ベテラン代議士) 自民党総裁選に統一教会が関与

したとは、にわかには信じがたいことだが、内閣人事と同日に行われた世界平和家庭連合の田中富広会長の会見は意味深であった。

「政治に、私たちの法人などが積極的に関わり、そして選挙にも積極的に行くように指導はしております。私たちの基本姿勢は共産主義と対峙して進めております。その視点から言うと、自民党議員の方々がより多く接点を持つことがある」旧統一協会は、反共産主義に抵抗する政治団体と語り、先述の閣僚経験者証言がやけにリアルに聞こえるのは筆者だけだろうか。2012年総裁選後、自民党は党勢拡大として70万～80万人だった党員拡大運動を展開し、安倍政権の勢いも相まって党員は一気に100万人を超えと飛躍するのである。3年後の2015年9月の総裁選は、安倍晋三総裁は無投票再選となって長期政権をひた走ることになったのだ。自民党と旧統一教会の関係は、もはや言い逃れできない事態に追い込まれているのではないか。18年もの間、認められなかった「世界基督教統一神霊協会」から「世界平和統一家庭連合」への名称変更がどのような経緯で承認されたのか国民は注意深く見ている。名称変更問題をめぐっては下村博文氏の関与が取り沙汰されているが、関わっている可能性があるのは下村氏だけではないという。「08年頃、日本と韓国を海底トンネルで結ぶ『日韓トンネル』という計画がありました。この案は現在、凍結されていますが、当時ある民主党議員が熱心に推進していました。この議員はその後、下村博文文科相を補佐するポストを得た。そのすぐ後の2015年、旧統一教会の名称変更が認められたのです。この人はしきりに『(旧統一教会から)行政裁判を起こされたら文科省は負けるかもしれない』というリスクを強調していました」(文科官僚) 内閣改造でリスタートするはずだった岸田首相の思惑は大きく外れてしまった。国民は、旧統一協会と政治の関係について納得できるような説明を求めている。取材・文：岩城周太郎

FNN・テレビ西日本 2022年8月13日 土曜 午後6:00

## 総工費10兆円の「日韓トンネル」 旧統一教会総裁が過去に視察…教団との関係は？唐津と対馬の現場は今

安倍元首相の銃撃事件をきっかけに、宗教法人世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の様々な問題が注目されている。

着工は40年前 佐賀・長崎に残る掘削の痕  
かつて九州には壮大な構想があった。

取材班が佐賀県唐津市の山間部を進んでいくと、発見したのは「日韓トンネル唐津調査斜坑」の文字。看板の下には大きな穴も確認できる。



看板に書かれた「日韓

トンネル唐津調査斜坑」の文字

日韓トンネルは、九州と韓国の間を約230kmの海底トンネルで結ぶというもの。国際ハイウェイ財団という団体が40年近く前に工事を始めた。



九州と韓国を海底トンネルで結ぶ

この国際ハイウェイ財団こそが、旧統一教会の関連団体なのだ。2016年には世界平和統一家庭連合の韓鶴子（ハン・ハクチャ）総裁が唐津市内のトンネルを視察に訪れている。



国際ハイウェイ財団によると、地質調査を目的に掘られたトンネルの長さは540m。トンネルの先端部分が所有する敷地の境界線に達していることから、2007年からは掘削工事は行われていないという。



日韓トンネルの工事現場は、佐賀県唐津市だけではない。長崎県対馬市。空港から車で西に約20分。途中、現場と分かる表示も特にないため、地元の人に聞いてみると...



地元の男性：  
トンネルの工事現場言うたら、そっちやない？

——いや、日韓トンネルです

地元の男性：  
日韓トンネルは分からん。そんなことは聞いたことない

——工事をしている？

地元の男性：  
日韓トンネルが掘げるって？そりゃ聞いたことがない  
最近の大雨の影響で多くの落石がある山あいの道を何回も往復。  
日韓トンネルの現場へ繋がるとみられる道路は、舗装が途切れたところで嚴重にチェーンで施錠されていて、これ以上近づくことはできない状態となっている。



しかし上空から見ると、その場所を見つけることが出来た。

そこにあったのはアーチ状の構造物。トンネルの入り口とみられ、財団によると2014年に調査用として建設されたものだという。現場整備や調査工事も少しずつ行われている。



上空から見るとアーチ状の構造物が見えた

当初の計画では、この場所に1300メートルのトンネルを掘る予定だった。

建設採択に関わった市議 旧統一教会との繋がり「知らない」  
2013年3月、対馬市議会で採択された日韓トンネルの早期建設を求める意見書が残されている。

当時、長崎市の任意団体「日韓トンネル推進長崎県民会議」から請願を受け、全会一致で可決された。質疑や異議はなかった。この翌年には調査用トンネル着工の式典が行われている。



早期建設の意見書を採択した時の対馬市議会議員で、現職の作元義文市議が取材に応じてくれた。

——大きなプロジェクトが対馬であれば、地域活性化の起爆剤になると？

対馬市議会 作元義文市議：  
そりゃもちろん。みんな思っていたでしょう  
——作元市議は？

対馬市議会 作元義文市議：  
私もそう思ってたよ。（対馬市の）議員のところに、国際ハイウェイ財団のプロジェクトの人たちが回ったり、説明をしたりしてたよ。私のところにも何回も来たけどね



国際ハイウェイ財団の関係者と面会したと明言する作元市議。当時、財団と旧統一教会との繋がりについては...

——旧統一教会と繋がりがあつた財団と知っていた？

対馬市議会 作元義文市議：  
おそらく、知らない  
——作元市議自身は？

対馬市議会 作元義文市議：  
全然、そういうことは知らんもん。いま話が出てきた旧統一教会、財団、あれは繋がると？へえ、そう。そりゃ、（採択を）せにや良かったね



総工費 10 兆円ともされる日韓トンネル構想。作元市議は、規模の大きさから実現は難しいのではないかと感じていたという。

対馬市議会 作元義文市議：

できる問題じゃないもん、現実的に。考えてみんね。どこに 10 兆円お金が使える？

前衆院議員の原田義昭氏「優れた構想だと思ったので支持」  
実現に懐疑的な声もある中、2015 年には「日韓トンネル実現九州連絡協議会」が設立された。

テレビ西日本の取材では、2020 年に福岡県内で開かれた 5 回目の総会に、当時の国会議員や福岡県の県議会議員、財界関係者、九州大学など大学関係者らが出席していたことが分かっている。



出席者の 1 人、福岡 5 区の前衆院議員・原田義昭氏を直撃した。  
旧統一教会が関連していることは把握していたのか？

前衆院議員 原田義昭氏：

私も子どもではないから、そういうところ（旧統一教会関係）が一生懸命やっているのは分かっているけれど、入信して文鮮明（旧統一教会の教祖）にこだわっているわけではない



その上で原田氏は「日韓トンネルが優れた構想だと思ったので支持した」と説明。さらに、佐賀県唐津市の現場も視察したと話す。

前衆院議員 原田義昭氏：

人をかどわかって、そんな生やさしいものではないことは、見に行くとみんな分かる



——実現の可能性はどう感じる？

前衆院議員 原田義昭氏：

なかなか時間はかかる。ただ必ず実現する。100 年かかるかもしれないけど

すでに 100 億円以上投じているという空前のプロジェクト。その行く末は見えないままだ。

（テレビ西日本）

## 関口宏 政治の意向で旧統一教会の捜査ストップに「何か大きな力が動いてますよねえ」

東スポ 8/14(日) 10:10 配信



関口宏(東スポ Web)

ジャーナリストの青木理氏が 14 日に「サンデーモーニング」(TBS) に出演し、旧統一教会と政治家のつながりについて言及した。

青木氏は旧統一教会による霊感商法や高額寄付について「なぜ、もっと警察だったり捜査しなかったのか。僕の取材だと政治の意向によってそれが止められたんだという話もあるんですよ。もし、その段階(90年代)で警察がきちんと捜査をしていればその時点で被害は止まったかもしれない。それがなぜ止まったのか。きちんと解明されないといけない」と話した。

メディアの報道が旧統一教会の会合の出席、祝電を送っていたことへの追及が中心になっていると指摘。「もちろん大切なんですけど。もうちょっと大きな目で見るとそもそも共産主義、反共と言いながら政治と結びついた背景には何があったのかという問題とか。警察の捜査がなぜ止まったのか。もう少し視野を広げて追及していかないといけないテーマがまだまだたくさんあるなと感じています」と話した。

司会の関口宏が「何か大きな力が動いてますよねえ」と感想を述べると青木氏も「そうですね」と同意していた。

## 江川紹子さん、旧統一教会と政治の問題で「関係の濃淡は大事」と私見「虚偽弁明の議員は退場を」と厳しくクギを刺す

中日スポーツ 8/14(日) 14:26 配信



江川紹子さん

ジャーナリストの江川紹子さん(64)が、13日夜に自身のツイッターを更新。世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と政治をめぐる問題について2つのポイントで私見を述べた。

第1のポイントとして「選挙にボランティアとして押しかけられ断りきれなかったり、そうと知らずに祝電1回打っちゃったのと、イベントでスピーチまで行ったのとは全然違う。関係の濃淡は大事」と指摘。

さらに「国民への説明はさらに重要。自らの地位を守るために黙っていたり、虚偽の弁明した議員は退場願いたい」と、旧統一教会との関わりについて弁明が相次ぐ与野党の議員に、厳しくク

ギを刺した。

## 行政との関係も相次ぎ判明 旧統一教会、補助金や後援 三重 伊勢新聞 8/14(日) 8:00 配信

安倍晋三元首相が銃撃を受けて死去した事件をきっかけに政治家と世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との関係が浮上する中、行政も旧統一教会の関連団体との関係が相次いで判明している。イベントに補助金や後援を出したりしていたほか、行政と協力して事業に取り組む団体として登録しているケースも。県や市は「旧統一教会と団体の関係を把握するのが難しい」と、対応に悩む。

四日市市は令和 2 年 11 月に市文化会館で開かれたイベント「ファイト三重! 県民まつり」に約 59 万円の補助金を交付したが、このイベントを主催する実行委員会には旧統一教会の関連団体が関与していた。

市によると、実行委員は旧統一教会の関連団体とされる「三重県平和大使協議会」のメンバーらが務めていたという。また、市は補助金の交付に加え、このイベントを県と共に後援していた。

津市は「世界平和女性連合三重第一連合会」が事務局を務める実行委が昨年 7 月に開いた「第 20 回留学生日本語弁論三重県大会」に約 13 万円を補助した。先月 9 日に開かれた大会への補助金交付も決めているという。

県でも、この団体との関係が浮上。県の男女共同参画センターが、協力して男女共同参画の取り組みを進める「登録団体」として認定し、ホームページで活動を紹介していることが今月に入って明らかになった。

四日市市、津市、県は取材に対し、補助や後援などを出すに当たった審査で「宗教的活動がないこと」を定めた基準を満たしていたと主張。いずれも「当時の判断に誤りはなかった」との認識だった。

また、担当者らは「旧統一教会の関連団体だとは知らなかった」と説明。津市の担当者は補助の申請があった当時、団体の定款を提出させるなどして確認したが、それでも関連団体とは気付かなかったという。

一方、四日市市にはイベントの前、旧統一教会と実行委に関与する団体の関係を指摘する情報が外部から寄せられた。ただ、職員が会場で宗教的な活動がないことを確認した上で補助金の支出を決めたという。

県や両市の担当者は「関連があるかどうかの線引きが難しい」(四日市市政策推進課)などと、旧統一教会の関連団体と判断する難しさも訴える。警察などの行政機関が認定しているわけではないからだ。

一見勝之知事は 9 日の定例記者会見で「靈感商法をやっているような団体に後援は出さない方が良い。どのような形で排除できるかを考えたい」とし、基準を検討するよう総務部に指示する考えを示した。

一方で「県独自に(後援の可否を)判断するのは難しい。県の調査能力では無理だと思う」と説明する場面も。「国に後援が適切でない団体をガイドラインのように出してもらおうのが一番良い」と語った。

## 旧統一教会創始者遺族に弔電 死去 10 年を前に—北朝鮮 時事通信 2022 年 08 月 14 日 19 時 41 分



1991年に訪朝し、乾杯する世界平和統一

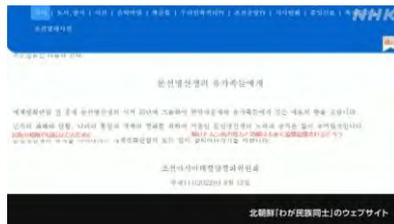
家庭連合(旧統一教会)の創始者、文鮮明氏(左)と北朝鮮の金日成主席(EPA時事)

【ソウル時事】北朝鮮は、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の創始者、文鮮明氏の死去から 10 年となるのを前に、遺族へ弔電を送ったと発表した。朝鮮アジア太平洋平和委員会の名で 13 日付で送られたという。

北朝鮮の宣伝サイト「わが民族同士」によると、「民族の和解と団結、国の統一と世界の平和のために傾けた文鮮明先生の努力と功績は末永く追憶されるだろう」と記した。

文氏は 2012 年 9 月 3 日に死去した。現在の北朝鮮の平安北道出身で、1991 年に訪朝し、故金日成主席と会談した。死去の際には金正恩労働党第 1 書記(当時)が弔電を送った。

## 北朝鮮が旧統一教会の創始者遺族に弔電 死去 10 年で NHK2022 年 8 月 14 日 9 時 59 分



北朝鮮は、韓国で創設された旧統一教会、いまの「世界平和統一家庭連合」の創始者で、経済事業を通じて北朝鮮との関わりが深かったムン・ソンミョン(文鮮明)氏の死去から 10 年となるのを前に、遺族に弔電を送ったと発表しました。

北朝鮮の対外関係の窓口であるアジア太平洋平和委員会は、韓国で創設された旧統一教会、いまの「世界平和統一家庭連合」の創始者、ムン・ソンミョン氏の死去から来月 3 日で 10 年となるのを前に、13 日付けでムン氏の妻のハン・ハクチャ(韓鶴子)総裁ら遺族に対して弔電を送ったとウェブサイトを通じて明らかにしました。

弔電では「民族の和解や団結などのために傾けたムン氏の努力と功績は末永く追憶されるだろう」などとしています。

現在の北朝鮮にあたる地域で生まれたムン氏は、共産主義に反対する保守系の政治団体「国際勝共連合」を設立する一方、南北統一のため努力するとして北朝鮮に接近しました。

ムン氏は、1991 年に訪朝してキム・イルソン(金日成)主席と会談したのをきっかけに、北朝鮮で自動車の生産やホテル事業を手がけたことで知られ、2012 年に死去した際には、キム・ジョンウン(金正恩)総書記がみづから遺族に弔電を送るなどしています。

## 北朝鮮が旧統一教会の文鮮明氏を称賛 死後 10 年で遺族に追悼文

朝日新聞デジタルソウル=鈴木拓也 2022年8月14日 20時15分



2022年8月10日、平壤で行われた全国非常防疫総括会議で演説する金正恩総書記。朝鮮中央通信が11日に伝えた=朝鮮通信

北朝鮮の朝鮮アジア太平洋平和委員会が13日に、「世界平和統一家庭連合（旧統一教会）」の創始者・文鮮明（ムンソンミョン）氏の死去から10年に向けた追悼文を遺族に送った。「文先生の遺志を受け継ぎ、すべてがうまくいくことを願っている」などとしている。北朝鮮のウェブサイト「わが民族同士」が記事として伝えた。

同委員会は、北朝鮮の韓国に対する工作機関である朝鮮労働党統一戦線部の傘下組織。記事によると、追悼文は、文氏の妻で教団の総裁を務める韓鶴子（ハンハクチャ）氏ら遺族に宛てられている。

9月3日で死去から10年と…  
残り245文字

## 桜田淳子と旧統一教会の45年…全盛期の19歳で入信、10年以上隠しながら34歳で合同結婚式へ

日刊ゲンダイ 8/14(日) 9:06 配信

【シリーズ「光と影のアイドル群像」】桜田淳子 松田聖子や郷ひろみのように、いまなお熱い声援を浴び続けるスターはほんのひと握り。星の数ほど現れ消えていったアイドルたちの光と影。第1回は、本人不在のまま、いま再び脚光を浴びる桜田淳子だ。

韓国ソウルのオリンピックスタジアムで晴れやかな笑顔をふりまくウエディング衣装姿の桜田淳子。隣には新体操のスター山崎浩子の姿も……。

1992(平成4)年8月25日に行われた統一教会の合同結婚式。当時、桜田淳子、34歳。

合同結婚式の写真は日本のテレビで何度も取り上げられ、誰もが画面にクギ付けになった。「♪ようこそここへ クッククック——」。ショートカットに帽子姿の桜田淳子が歌う「わたしの青い鳥」を口ずさみながら育った世代には、とりわけ忘れられない30年前の衝撃的な光景だった。

何が衝撃的か——よりによって靈感商法で「反社会的」のレッテルを貼られた旧統一教会の信者だったこと、相手は教祖が勝手に決める見ず知らずの男性、さらに何百・何千組のカップルに交ざって集団結婚式を挙げる……。 「われらがアイドル淳子ちゃんはどうなっちゃったんだ！」

往年のファンは？？？ばかり。腰を抜かさんばかりに驚いたものだった。

レコード売り上げ600万枚

秋田生まれ。同学年の森昌子に刺激され、日本テレビの人気番組「スター誕生！」に挑戦。決戦大会では史上最高の25社からプラカードがあがって14歳で歌手デビューした。作詞・阿久悠、作曲・中村泰士のコンビによる「わたしの青い鳥」はじめ「夏にご用心」「気まぐれヴィーナス」「サンタモニカの風」などが次々

とヒット。70年代を代表するトップアイドルのひとりになった。レコード売り上げは累計で600万枚といわれる。

しかし、後々の記者会見での弁によれば、この人気絶頂期の19歳のときに、すでに旧統一教会に入信していたというのだ。「もともと桜田の姉が信者だったことがきっかけだそうですが、ずっと隠されていた。芸能関係者も入信のことは初耳だった。感づいていたのは、マネジャーや所属事務所サンミュージックの社長らごく一部なのは。でも、桜田の場合、そう言われてみれば、納得できることも多い。20代になってからもずっと、結婚はおろか、浮いたウワサも流れなかったですからね」（芸能ジャーナリスト）

“花の中3トリオ”の山口百恵は21歳で、森昌子も27歳で結婚した。

それに対して、いつまでも独身で清純イメージだった桜田淳子。だが、その裏には旧統一教会の強い縛りがあったということだ。教祖が決める相手以外は、サタン（悪魔）なんだと信じていたのだろう。

では、教祖・文鮮明の導き通りに合同結婚式を挙げた彼女は幸福になったのだろうか？

34歳から30年間、旧統一教会の広告塔としての生き方



相澤秀禎（サンミュージック会長）通夜で（代表撮影）

旧統一教会の信者であるとは会見でカミングアウトし、ソウルの合同結婚式に参加した桜田淳子。当時34歳。当然のようにテレビのワイドショーに追いかけてまわされ、仕事はなくなり、表舞台から消えた。「1992年の合同結婚式は、桜田淳子のほかに新体操界のスター山崎浩子や人気テレビコメンテーターだった飯干景子も参加するというので、結婚式の2カ月前からすごい騒ぎだった。しかし、飯干景子が親族に説得されて脱会したり、山崎も結婚式のあとに失踪・脱会の騒動となり、むしろ統一教会にとっては大誤算。勢力拡大の一大PRイベントのはずが、ミソをつけてしまった。桜田淳子も旧統一教会の“広告塔”扱われ、身を潜めるしかなかった」（芸能ジャーナリスト）

しかし、桜田淳子にとっては、すべて覚悟のうえ、想定内のことだったのだろう。

教祖・文鮮明が選んだ結婚相手の東伸行さんと一度は会見（東京・赤坂のTBS内）に臨んだ桜田だが、婚姻後はさっさと芸能界から身を引いてしまった。旦那の東さんは、福井・敦賀で「敦賀燃糸」という工場を営んでいた。桜田は居を福井に移し、立て続けに3児をもうける。育児の合間には旧統一教会の集会で講演活動——。そんなママ兼広告塔の桜田の姿を撮ろうと、福井に通い続けるカメラマンもいたが、一度も取材に当たっていない。合同結婚式から8年後の2000年、敦賀燃糸は廃業。東さんの実家がある兵庫県西宮に引っ越したが、その後、上京して都内の高級マンションに移ったことがわかった。その資金や生活費などはどうしていたのか。旧統一教会からの広告塔代か、それとも桜田の蓄えなのか。不明のままだ。

“3人娘”の森昌子は日刊ゲンダイにこう語っていた



山口百恵（左）、森昌子（中央）と共に“花の中3トリオ”と呼ばれた（C）共同通信社

山口百恵（左）、森昌子（中央）と共に“花の中3トリオ”と呼ばれた（C）共同通信社

桜田が一度だけマスコミの前に姿を現したのは13年5月のこと。デビューから所属していたサンミュージックの相沢秀禎会長が83歳で亡くなったときだ。通夜に参列した桜田は、遺影に向かって「来ましたよ」と声をかけたという。「騒動が落ち着いたあと、桜田淳子の復帰の話は何度かありました。なつかしのヒット曲のようなテレビ番組ですね。でも相沢会長は、統一教会を脱会しないと無理だと言い、それで復帰番組は実現しなかった」（民放関係者）

16年に、日刊ゲンダイは森昌子に取材する機会があり、その際、桜田と連絡を取り合っているか聞いてみた。

森昌子は「私が病気のとき、淳ぺいから留守電が入っていたことがあった」と語った。だが、桜田と会うのはリスクを伴うだけに、気軽に会うことはできないようだった。「スター誕生」から歌手デビューした桜田は64歳。来年がデビュー50年目になる。その大半を旧統一教会の広告塔として過ごし、脱会もしないのだから、組織内での生活はそれなりに居心地がよかったのかもしれない。

しかし、安倍元首相の銃撃事件で再び糾弾されている旧統一教会。ますます姿を現しにくくなった桜田の組織内での役割は維持できるのか、最大の修羅場を迎えているといえる。（文中敬称略）

### 国葬は「役割を終えた」もの 歴史学者が語る政府決定への大きな疑問

朝日新聞デジタル聞き手・桜井泉 2022年8月14日 6時00分



東京・神谷町を進む山本五十六・連合艦隊司令長官の葬列=1943年6月



9月に行われる安倍晋三元首相の国葬への賛否が割れています。歴史学者で国葬を研究する宮間純一さんは、そもそも国葬は「歴史的に役割を終えた」ものだとし、実施に疑義を呈します。「戦後の民主主義とは相いれない」と、宮間さんが考える理由とは――。

みやま・じゅんいち 1982年生まれ。中央大学教授。専門は日本近代史、明治維新研究。宮内庁書陵部宮内公文書館研究職、国文学研究資料館准教授を歴任。著書に「国葬の成立 明治国家と『功臣』の死」など。

――安倍晋三元首相の国葬が9月27日に営まれることになり

ました。どう評価しますか。

「日本における国葬は、大日本帝国の遺物であり、歴史においてその役割を終えたと思っていたので、大変驚きました」

「岸田文雄首相は、国葬の理由について『我が国は暴力に屈せず、民主主義を断固として守り抜くという決意を示していく』としていますが、私には全く意味が分かりません。そもそも、国葬と戦後の民主主義は相いれないものだと思います」

――なぜですか。

「民主主義の社会においては…」

残り 2095 文字

### 安倍元首相の国葬賛否に欠ける「英霊崇拜」の憂慮国家が悲劇の個人の死を弔うことの意味は何か 澤田 克己：毎日新聞論説委員

東洋経済 ONLINE 2022/08/14 5:00



安倍晋三元首相の通夜に手向けられた花

（写真：Bloomberg）

安倍晋三元首相の国葬への賛否が割れている。国会での議論をしないまま閣議決定で国葬実施を決めた政府の手法が専門家や野党から批判され、世論調査でも反対が増えた。日本では1926年に勅令である国葬令が定められたが、敗戦後に廃止されており、戦後は「特例」として実施された吉田茂元首相の例があるのみだ。そもそも国家が個人の死を弔うことの意味は何か――。著書『犠牲者意識ナショナリズム』で、「悲劇の主人公」の死を近代国民国家が利用してきた様相を分析した韓国・西江大の林志弦（イム・ジヒョン）教授に聞いた。

故人の遺志は強靱な生命力を持つ

澤田克己（以下、澤田）：選挙遊説中に銃撃された安倍氏の死は、衝撃的なニュースとして世界に伝えられました。韓国での報道について、どのような印象を持ちましたか？



『犠牲者意識ナショナリズム』（書影をクリック

すると、アマゾンのサイトにジャンプします。紙版はこちら、電子版はこちら。楽天サイトの紙版はこちら、電子版はこちら）

林志弦（以下、林）：まずは、まったく予想できなかった事件に驚いたという反応だった。その次に出たのが憂慮だ。政治的な暗殺の場合、犠牲となった政治家の死は「気高いもの」と受け取られる。それが、安倍氏の政治的遺産の美化につながるのではないかと考えられた。アジア太平洋戦争や植民地主義の過去に肯定的な意味を与えたり、平和憲法を改正したりするような政治的動きへの感情的な支持が高まるのではないかとという憂慮だった。

韓国では1974年に演説中の朴正熙大統領を狙った銃撃事件があり、流れ弾に当たった陸英修夫人が死亡した。朴正熙も1979

年に側近によって射殺された。朴は国葬、夫人は国民葬とされたが、その時に韓国社会で起きたことがトラウマとして残っている。国葬という宗教的なものを感じさせる祭祀の放つオーラの中で軍事独裁という影は隠され、彼の功績だけが強調されたのだ。

澤田：積極財政や防衛力強化などという安倍氏の推進してきた政策の継続を求める自民党保守派の議員が、口々に「安倍氏の遺志」を継がなければいけないと主張しています。時に保守派の主張を抑える役割を果たしてきた安倍氏がいなくなり、「遺志」という言葉が独り歩きするのではないかと懸念されています。「故人の遺志」という言葉は、なぜ強い力を持つのでしょうか。

林：本人に真意を確かめることのできない「故人の遺志」は、生前の主張より強靱な生命力を持つ。死んだ人に真意を確認することなどできないと皆がわかっているから、「故人の遺志」はいかようにも解釈される。

2018年にリトアニアを訪問した時の安倍氏の言葉にも、それは表れていた。安倍氏は、第2次大戦中に日本の査証（ビザ）を発給して多くのユダヤ人難民を救った杉原千畝の記念館を訪れた際、唐突に「法の支配と国際秩序」を強調した。本国政府の訓令を無視して査証を発給した杉原の「遺志」を、自分の流儀で解釈したわけだ。

「安倍氏の遺志」もまた、無限に開かれたテキストだ。何が「遺志」なのかは、安倍氏が本当に考えていたことは何かで決まるのではなく、今後のパワーゲームの中で定まっていくのだろう。

澤田：19世紀フランスの歴史家、ジュール・ミシュレが「歴史」について名言を残しているそうですね。

林：歴史家とは、死者たちに彼らの死の意味を説明してあげる解説者だと語った。私も歴史家の一人ではあるが、歴史家というのは卑怯なものだと思う。生きている歴史家の解釈に死者は反論できないのだから。

脱走兵よりも無名戦士を記念する碑が多い理由

澤田：前々回のインタビュー記事『自分たちは犠牲者』の声忘れていた危険な思想』で、犠牲者意識ナショナリズムについて「先祖が犠牲となった歴史的記憶を世襲して自分たちを悲劇の犠牲者だとみなし、現在のナショナリズムを道徳的、政治的に正当化するものだ」と説明していますね。そして著書では、近代国民国家が戦死者の死を民族主義のために利用した「政治宗教」について分析しています。戦死者崇拝は、なぜ必要だったのでしょうか。

林：脱走兵よりも無名戦士を記念する碑のほうが圧倒的に多いという、私たちの記憶文化の現実が物語っているのではないかと。脱走兵は「敵」というレッテルを張られた他人に銃を向けることを拒否した末に銃殺されたヒューマニストたちである一方、無名戦士は祖国のために壮烈な戦死を遂げた人たちだ。国家の命令に従って、国家のために死んだ者を英雄に仕立て上げる儀礼が必要なのだ。

興味深いのは、ジョージ・モッセの著書『大衆の国民化』の日本での売り上げが事件後に伸びたことだ。フランス革命以降の国民主義の展開を大衆的儀礼やシンボルから考察したファシズム研究の書だ。国葬こそ大衆を国民化する装置だという批判意識が、モッセの本を求める理由ではないだろうか。アマゾン・ジャパンの「ナチス関連」図書の販売ランキングでこの本が上位に上がった

てきたことを知り、日本社会の知的な力はたいしたものだった。

澤田：靖国神社の戦死者崇拝は、第1次大戦後の欧州諸国と共通性があると著書で指摘されています。どういう点が共通し、違っている点は何でしょうか。

林：戦死者崇拝を通じて国民国家への忠誠心を呼び起こす点は共通している。日露戦争（1904～1905年）を経て戦死者崇拝を強めた日本は、第1次大戦（1914～1918年）を契機に同じ道歩んだ欧州諸国にとっての先駆者だったと表現できるかもしれない。イタリア・ファシズムの代表的理論家だったエンリコ・コラディーニが、日本から政治宗教を学ばなければならないと力説したことも興味深い。コラディーニによれば、日露戦争を経て国家と民族に神性を与え、国民にその世俗的政体を崇拝させるように仕向けた日本の政治宗教は、国民統合の模範答案だった。

日本と欧州の違いは宗教的なバックグラウンドだろう。崇拝対象を新たに加えるのが容易な神道は、一神教のキリスト教と大きく違う。欧州諸国は、キリスト教という伝統宗教と国民国家という世俗宗教の間で国民の忠誠心を争わねばならなかった。

武道館と靖国神社の位置関係

澤田：安倍氏の国葬が開かれる武道館と、靖国神社の位置関係にも着目されていますね。

林：実証史学の父と呼ばれ、戦前に東京大学教授を務めた黒板勝美は、靖国神社を政治宗教の場とすることに取り組んだ。欧州視察で見た諸民族の記念碑や愛国の祝祭に感銘を受けた黒板は、靖国神社の周囲に古代ギリシャのオリポス競技場のようなものを建て、国民的な祝祭を執り行う聖なる空間とするよう提案した。競技場は実現しなかったが、千鳥ヶ淵戦没者墓苑と武道館、昭和館、科学技術館、近代美術館などが周囲に配されたことで、政治宗教的な複合空間としての靖国神社に対する黒板の提案はある程度実現したと言えるだろう。

澤田：英霊という言葉は、戦後の韓国でも使われたそうですね。

林：帝国日本の戦死者崇拝と政治宗教の儀礼は、戦後も東アジア各国に残った。アメリカ軍に占領されて戦前を全否定せざるをえなかった日本と違い、国家建設が切実な問題だった新生独立国の韓国は典型例だった。韓国では、さまざまな国家儀礼で「護国英霊」や「祖国の守護神」といった呼称が使われた。戦死者の神格化は、植民地朝鮮より解放後の韓国で強まったと言える。

敗戦前の靖国神社の招魂祭と同じように、ソウルの国立墓地で開かれる戦没将兵の合同追慕式に参列する遺族は特別な配慮と礼遇を受けた。国家神道ではなく仏教やキリスト教の儀礼となったし、いくつか追加されたこともあったが、新生独立国・大韓民国の戦死者儀礼は基本的に帝国日本の政治宗教から出たものだ。ただ韓国の新世代にとっては、「英霊」はもはや耳慣れない古い言葉になっている。モッセの著書『Fallen Soldiers』が翻訳された時に付けられた書名が象徴的だ。日本語版タイトルは『英霊』とされたが、私が解題を付けた韓国語版は『戦死者崇拝』だった。日本らしくない過剰な哀悼

澤田：安倍氏の「国葬」を巡る日本国内の動きから何を感じていますか。

林：ダイアナ妃が自動車事故で亡くなった時、冷淡だった王室を除く全国民が哀悼ムードに包まれた英国は、まるで「服喪中の国」

という様相を見せた。

それは、帝国としてのかつての栄光を失った社会の底辺に押し込まれてきた「ポスト・コロナな憂鬱」が、ダイアナの死によって噴き出したかのようなものだった。彼らが哀悼していたものが、ダイアナの死だったのか、あるいは失墜した大英帝国の威光だったのか、今でもどちらなのだろうという思いにとらわれる。

帝国だった時代の日本を懐かしむ声を堂々と上げていた安倍氏の死を悼み、「国葬」を語る日本らしくない過剰な哀悼という大きなうねりを見て、衰退した帝国のかつての栄光に対する「ポスト・コロナな憂鬱」を感じるとしたら、それは行き過ぎた解釈なのだろうか。

## ハリス副大統領、安倍元首相の国葬出席で初来日へ...日米政府が調整

読売新聞 8/14(日) 5:02 配信



ハリス米副大統領 (AP)

9月27日に予定される安倍晋三・元首相の国葬(国葬儀)に、米国のハリス副大統領が出席する方向で日米両政府が調整に入ったことがわかった。実現すれば、ハリス氏にとって就任後初の来日となる。複数の日本政府関係者が明らかにした。

バイデン政権としては、日程の調整がつかないバイデン大統領の代わりに副大統領が出席することで、安全保障関連法制定など日米同盟の強化に尽力した安倍氏の外交上の功績をたたえ、日米関係の重要性を改めて示す狙いがある。

岸田首相も、来日時にハリス氏と会談する方向で、インド太平洋地域の国際秩序作りを巡り、日米が果たす役割などについて意見交換する見通しだ。

インド出身の母を持ち、アジア系初の副大統領となったハリス氏は、安倍氏が死去した7月、「安倍氏は米国の親友だった」とのメッセージを出していた。

## ハリス米副大統領、安倍元首相の国葬出席へ 日米が調整

日経新聞 2022年8月14日 11:30 (2022年8月14日 15:36 更新)



ハリス米副大統領は就任後初めての来日を検討する=ロイター

日米両政府が9月27日の安倍晋三元首相の国葬に、ハリス米副大統領の出席を調整していることがわかった。実現すればハリス氏の就任以来初めての来日で、岸田文雄首相とも面会する見通しだ。

国葬にはオバマ元米大統領やフランスのマクロン大統領、ドイツのメルケル前首相も参加を検討している。日本政府は国葬の直前に参加する海外要人を発表する。

副大統領の出席を検討し始めたのはバイデン米大統領の日程が

合わないためだ。「自由で開かれたインド太平洋」を提唱した安倍氏の功績をたたえ、日米同盟の重要性を示す機会と捉える。首相とハリス氏の面会では中国の台湾周辺での軍事演習やロシアのウクライナ侵攻などを扱う可能性がある。アジアの安全保障問題でも意見交換する。ハリス氏はインド出身の母を持ち、アジア系初の米副大統領になった。

安倍氏の死去を巡って250以上の国・地域・機関が1700件を超える弔電を送った。政府は国葬を開催し、海外の要人が弔意を示す機会にする。

安倍氏と平和条約交渉などの会談を重ねたロシアのプーチン大統領は参列しないとみられる。中国や韓国からの出席者も焦点になる。政府は台湾にも国葬の時期や場所を通知した。安倍氏死去の直後には頼清徳・副総統が来日した。

## 安倍元首相の「国葬」アメリカ政府 ハリス副大統領の参列検討 NHK2022年8月15日 4時41分



来月行われる安倍元総理大臣の「国葬」について、アメリカ政府はバイデン大統領の参列は見送る一方、代わりにハリス副大統領を参列させる案を検討しています。

安倍元総理大臣の「国葬」は、来月27日に東京・千代田区の日本武道館で行われる予定で、政府は、関係省庁の幹部らによる「葬儀実行幹事会」を立ち上げ、外国の要人を含む参列者の把握などの準備を本格化させています。

日本政府の関係者によりますと、アメリカ政府はバイデン大統領の参列は日程的な都合で見送る一方、代わりにハリス副大統領を参列させる案を検討しています。

ハリス副大統領が国葬に参列すれば、就任後初めての来日となります。

また安倍氏の現職時代に、ともに被爆地・広島やハワイの真珠湾を訪れたアメリカのオバマ元大統領や、国際会議などでたびたび顔を合わせてきたドイツのメルケル前首相などが参列の意向を示しているということです。

政府は、各国の意向も確認しながら参列者の把握を進めるとともに、会場警備や要人警護の態勢構築など準備を急ぐことにしています。

## 小池百合子都知事の「マジック」はなぜ不発だったのか 支援候補が参院選「東京」で大敗した舞台裏

2022/8/14 11:00 (JST)共同通信社



元都議の荒木千陽氏(右)を参院選で応援する

東京都の小池百合子知事=6月24日、東京都大田区

7月の参院選東京選挙区では、小池百合子都知事(70)が支援した元都議で側近の荒木千陽氏(40)が落選した。小池氏の知名度を頼りに当選を目指した陣営の目算は大きく外れ、当選圏

の6位から約28万票離される大敗。他党はこれまで、「小池マジック」と称される選挙戦術に苦汁をなめてきただけに、この結果に安堵。小池氏の今後の求心力低下を指摘する声も上がっている。「風」はなぜ吹かなかったのか。舞台裏を振り返った。(共同通信=小島孝之)

#### ▽「小池と荒木」の特別な関係

投票日から一夜明けた7月11日昼。都庁で報道陣の取材に応じた小池氏は、敗因をこう分析した。「私を認識してくれる方はたくさんおり、最終日は非常に盛り上がりがあった。一方で『小池と荒木』という関係があまり認識されていなかった」

荒木氏は、小池氏が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」代表として小池都政を支えてきた。本人によると、熊本から上京後、履歴書1枚を持って国会の事務所を突撃訪問し、衆院議員だった小池氏の秘書に採用されたという。同居していた時期もあり、小池氏が「家族」や「長年の相棒」と表現するように、周囲は「特別な関係で結ばれている」と語る。

国政に後ろ盾がない荒木氏にとって、当選の鍵は小池氏の集票力だった。陣営はさらに、推薦を受ける国民民主党と連合東京の組織票や、都民ファースト所属議員が持つ個人票を加えることで、当選ラインを超えるとの青写真を描いていた。

#### ▽「このままでは党の存続が危ぶまれる」

ところで荒木氏はなぜ今回、出馬したのか。小池氏は2017年の衆院選で希望の党を結成し、政権奪取に挑んだ。国政復帰のうわさは絶えず付きまどってきたものの、小池氏自身は都民ファーストの国政進出を主導したわけではない。

一方、都民ファースト内では、昨年の都議選で第2会派に転落した後、国政進出を目指す動きが高まった。国政にパイプを作り、新型コロナウイルス対策や子育て政策など、都政を前進させることを表向きの理由とした一方で、こんな危機感があったためだ。「このまま都政にとどまれば、党の存続が危ぶまれる」

都民ファーストは昨年10月に「ファーストの会」を立ち上げ、国政進出に向けて本格稼働。しかし、同年10月の衆院選への候補擁立は準備が間に合わず、断念した。その後、年明けから始まった国民民主との協議では、参院選に向け合流を視野に入れていたが、党名で折り合わなかったり、一部から慎重論が出たりしたため頓挫した。

関係者によると、この頃、参院選への候補擁立に向けた都民ファーストの会議では、所属議員から「知事の動向が見えない」という不安視する声が上がっていた。これに対し、荒木氏は「知事がどう出てくるか分からないが、都民ファーストを思う心は母親以上だ。選挙では魔法をかけてくれる」となだめる場面もあったという。

結局、小池氏の応援を一番得やすい候補ということもあり、党トップである荒木氏の出馬が決定。国民民主の推薦を受ける一方で、ファーストの会が国民民主の比例代表候補を推薦する形で落ち着いた。



参院選での候補者の相互推薦に合意し、共同

記者会見した荒木氏と国民民主党の玉木雄一郎代表=4月、国会  
▽自民会派の政治パーティーに招待された小池氏

小池氏は2016年に自民党と決別して知事に就任後、時に政権と対峙する姿勢を示し、有権者の関心を引きつけてきた。

だが最近では都政、国政ともに自民と歩調を合わせる場面が目立つ。18日間の選挙期間中、荒木氏の応援には平日の公務後や週末を使って13日間駆け付けたものの、街頭演説で訴えたのは都政の実績や荒木氏の人柄のアピールが中心。政権批判は影を潜めた。

周囲は、政権与党であり、都議会第1会派でもある自民への配慮があったとみる。あからさまに対立すれば都政運営が停滞する。荒木陣営の関係者は「1400万都民のために都政を進めたい思いが強かったのだろう」と語った。

一方、都政運営の主導権を握りたい自民は、小池氏や荒木氏への批判を抑えつつも、出方をけん制してきた。昨年の都議選では最終盤に小池氏が都民ファーストの応援に入ったことで、予想外の苦戦を強いられている。今回も警戒感は強かった。



荒木千陽氏。参院選への出馬表明を3月にした=東京都庁

自民は5月には、都議会会派の政治資金パーティーに小池氏を招待した。知事就任後初めてのことで。

小池氏があいさつする際、壇上に待機させた自民の参院選候補2人とグータッチする機会も演出。一方、小池氏はあいさつの中で「6議席あるので、私の家族の荒木も出ますので、どうぞ覚えて思い出していただきたい」とやり返し、両者の微妙な距離感が顕著に現れる一幕もあった。

自民都連関係者は、その場面を「『荒木を応援したい』という本音が見えた」と振り返りつつ、選挙戦を通しての小池氏の言動については笑みを浮かべてこう解説した。「『自民への配慮』というよりは、自民を批判したくてもできなかったんだよ」

#### ▽苦戦、いらだつ小池氏

公示前、ある都民ファーストの都議は「知事が街頭に出れば、聴衆があふれる」との見立てを語っていた。しかし実際は思うように人が集まらず、演説を聴く人びとの熱気もいまひとつだった。「通行人が立ち止まってくれない。これまでと違う」。陣営関係者は首をひねった。

投票日を5日後に控えた夜、新宿区内で選対会議が開かれた。苦戦が伝わる中、小池氏はいらだちを口に出している。「(選挙戦略が)徹底できていないんじゃないですか」



参院選で荒木千陽氏(右)の街頭演説に駆け付けた東京都の小池百合子知事=7月9日、東京都豊島区

小池氏は環境相時代の「クールビズ」など、政策や事象になじみやすい標語や愛称を付けて世間の注目を集めてきた。今回の選

挙戦でも、荒木氏を物まねタレントの「りんごちゃん」に似ていると語ったり、ギリシャ神話の勇猛な女性部族「アマゾネス」に例えたりしたが、陣営が積極的に周知に動かないことに不満を募らせていたという。しかし、この時点では既に、劣勢を挽回する時間は陣営には残されていなかった。

荒木氏の得票は28万4629票で10位に終わった。同じ「第三極」的な立場を取り、ライバル視していた日本維新の会の候補に24万票以上離された上、無所属で出馬し、組織がほとんどなかった作家乙武洋匡氏にも敗れた。荒木氏を推薦した国民民主が東京で獲得した比例票、約41万票にも遠く及ばなかった。

落選が決まった荒木氏は11日未明、選挙事務所「議席に遠く及ばず、おわび申し上げます」と憔悴した様子で語った。

想定以上の伸び悩みに、ある都民ファースト都議は「都議選は知事についていけば票が出たが、国政の座標軸は自民。立ち位置がどう違うのかを有権者に説明できなかった」と語る。別の都議は「軸は知事にしか作れないが、都民ファーストは知事の党だから、どう動くかは彼女に委ねるしかない」と吐露。連合関係者は「陣営には『作戦小池』しかなかった」と嘆息した。

▽「本気で戦って傷ついたわけではない」

荒木氏は7月下旬、都民ファースト代表を辞任する意向を所属議員に表明した。党内では選挙後、敗北したのは荒木氏であり、小池氏自身の求心力に影響はないとの声が広まる。



東京選挙区で落選が決まり、支持者らに頭

を下げる荒木千陽氏は7月11日、東京都中野区

都民ファーストのある都議は「当然小池氏にダメージはある。ただ、本気で戦って傷ついたわけではない」と語り、「また世論を盛り上げ、政局を作る場面は必ず来る」と期待する。

ただ、他党の見方は異なる。ある政党の都連幹部は、来春の統一地方選への影響を見越して「『小池氏で選挙を戦えない』となれば、都民ファーストは候補者が集まらない。議員を増やせなければ、求心力はさらに先細りしていく」とみている。

知事2期目の任期は2024年夏まで。今回の敗北が、今後の都政運営や小池氏の去就にどう影響するのか、先行きは見通せない。

## 選挙の大切さ、高校生実感 参院選啓発活動 大崎の5校が報告会

河北新報 2022年8月15日 6:00



参院選期間中に取り組んだ活動の結果や

反省点を各校が報告した

7月の参院選に関して選挙啓発活動に取り組んだ宮城県大崎市内の高校5校による報告会が7日、同市古川の吉野作造記念館であった。5校の18歳投票率は55.3%で、全国の18歳(3

8.67%)を上回った。ポスター掲示、交流サイト(SNS)の活用といったキャンペーンに知恵を絞った生徒たちは、政治を主体的に考える大切さを実感した。

18歳投票率、全国上回る

5校は5月から4回のワークショップで選挙制度や各党・候補者の公約を学び、6月22日の公示後に校内での活動を本格化した。事前、事後アンケートの実施をはじめ、18歳を迎えた3年生を主な対象にそれぞれのキャンペーンを展開。報告会では取り組み内容や効果、反省点を発表した。

古川高はインスタグラムを使って選挙制度や活動内容、立候補者の公約を発信し、ポスターやプリントも作った。「選挙について知ろうの会」と題した集会は生徒がほとんど集まらず、急きよ教室に向いてプレゼンを行う苦労もあった。

リーダーの2年秋山麻衣さん(17)は「3年生に向けた活動は難しかったけど、キャンペーンで選挙の情報を得たと言ってくれた人もいて、達成感はある」と手応えを語った。

古川黎明高では選挙制度や投票の流れ、候補者を紹介する冊子を作り、3年生に配布。当初計画した動画作成や公約紹介は公選法を考慮して断念したが、投票率は8割を超えたという。

自身も初めて投票に行った加藤寛基さん(18)は「政治は難しいイメージがあったけど、政党や政策を知り、チームで一緒に考えることができた」と強調。大崎中央高、古川学園高、古川工高も発表に立った。

5校は昨年10月の知事選で当時のメンバーが活動し、18歳投票率は72.1%だった。吉野作造記念館の氏家仁館長は、7月の選挙は年度初めから準備期間が短い上、選挙権を持つ3年生が少ないことも伸び悩みにつながったとみる。

「総体や定期試験で多忙な中でも全国に比べて投票率は高く、一定の効果はあった。投票率を高めようと主体的に取り組む高校生の姿勢に、大人も学ばなくてはいけない」と総括した。

## 岸本聡子・杉並区長に聞いた 「困難にある人のための政策を実現できるか、政治の姿勢が問われる」

東京新聞 2022年8月14日 06時00分



<杉並から～始動 岸本区政>

東京都杉並区の岸本聡子区長に単独インタビューし、区政刷新から民主主義の再生まで幅広く話を聞いた。

<杉並から～始動 岸本区政①聞く力>

出馬表明からわずか2カ月で臨んだ杉並区長選で現職を破り、注目を集めた岸本聡子区長(48)は「一人一人が関わることで何かが変わると示すことができた」と選挙戦を振り返る。政治家に大切な能力は「学び、聞き、理解すること」と語る岸本区長。本紙のインタビューで、区政の問題から、民主主義や新自由主義に対する考えまで幅広く語った。今回紹介するテーマは「聞く力」。

きしもと・さとこ 1974年東京都生まれ。2003年からオランダに拠点を置く政策シンクタンク NGO「トランスナショナル研

究所」に所属（退職）し、各国の公共サービス民営化の実態などを調査。市民団体からの出馬要請を受け立候補した6月の区長選で、住民と対話しながら公約をバージョンアップするユニークな選挙戦を展開。187票差で現職を破り、今年11日に杉並初の女性区長に就任した。

#### ◆変革がつながると大きな力になる

いろいろな地域で変革を起こし、それがつながると大きな力になります。欧州中心に公共サービスや環境問題の研究や運動に取り組んだ時のこうした経験を、杉並区で役立てることができるかもしれないという思いもあり区長選に立候補しました。



選挙中の様子や今後の政策について話す杉並区の岸本聡子区長

選挙戦を通して、私は生活者サイドの話を聞いてきました。そのとき私は、ただの一市民であり、仲間として聞いた。区の行政を問題視している人の声はよく聞こえてきましたが、前区長の区政を支援していた人たちの声は私に届きませんでした。これからは、そうした人たちの考えも理解したいと思います。

行政組織は巨大で多岐にわたります。災害や気候変動、LGBTQ、施設再編など長期的課題と毎日提供しなければならないサービスを扱っている。多くの職員がいて、区長一人の理解を超えているような組織。そこがすごさであり難しさでもあります。でも、私はできるだけ学びたい。

区の職員は私と支援者らが選挙戦でつくった粗削りなマニフェストと課題のギャップを洗い出してくれました。区が大きく変わることに動揺もあると思う。職員がそれを受け止め、一緒に向き合ってくれることに感謝しています。信頼関係をどうつくるかは私の課題であり、職員の課題でもあります。

#### ◆審議会や諮問機関 委員の半分は女性にしたい



愛用の自転車に乗って登庁する岸本聡子・杉並区

長。区役所の駐輪場には区長専用区画が設置された。=28日午前、東京都杉並区で（戸田泰雅撮影）

ゆくゆくは女性の幹部を増やしたい。だから、女性が働く場としてどういう課題を抱えているかを聞いていきたいし、早急に対策をまとめたい。

また、地域や産業界、学識経験者による審議会や諮問機関の女性委員を半分に増やしたい。会にもよるが女性は1人、2人という印象。女性が半分になったら雰囲気もずいぶん変わるでしょう。区長の権限でできる部分も多いので、積極的にやっていきたい。

区民の声を吸い上げ区政に反映したい。例えば、住民が気候変動について話し合う「気候市民会議」の創設の要望があります。この会議は、市民が直接議論して、その内容が議会で話し合われるもので、直接提案できるプロセスです。

#### ◆パートナーシップ条例 追従的ではなく、もう一步先の議論進める

市民が単に話しあうだけでなく立法（条例化）や予算につなげるという具体的なところまでやりたい。住民が何かをやったことで「変わる」ということが重要。市民が提案したプロジェクトに予算がつく「市民参加型予算」は実現可能だし面白い。やって絶対損はありません。

短期的には、パートナーシップ条例を制定したい。同性同士を対象にするだけでなく、事実婚の人たちも条例の対象にしている自治体もあります。杉並区では、単に追従的にやるのではなく、もう一步先の議論を進めたいです。

杉並区 東京23区の西部に位置し、人口は57万人で、23区で6番目に多い。1954年に米国が南太平洋のビキニ環礁で水爆実験した後、全国に広がった原水爆禁止運動の発祥の地として知られる。衆院選では区域の大半が第8区で、長年石原伸晃氏（自民）が小選挙区の議席を維持。しかし、昨年10月の衆院選では吉田晴美氏（立憲民主）に敗れた。吉田氏を支えた市民団体が6月の区長選で岸本聡子氏を応援した。

#### <杉並から～始動 岸本区政②民主主義>

6月の東京都杉並区長選で現職を破り、初当選した岸本聡子区長。選挙戦では区民と議論を重ね、自らの政策を更新していくことで支持を広げた。本紙のインタビューでは、住民が地域の政治に関与するこうした動きが広がれば「民主主義の危機を乗り越えるアクションになる」と強調した。今回のテーマは「民主主義」。

きしもと・さとこ 1974年東京都生まれ。2003年からオランダに拠点を置く政策シンクタンクNGOで、各国の公共サービス民営化の実態などを調査。今年6月の杉並区長選で、区民団体の出馬要請を受けて立候補し、住民と対話しながら公約をバージョンアップする選挙戦を展開。187票差で現職を破り、7月11日に杉並初の女性区長に就任した。



選挙戦で市民との議論を重視した杉並区の岸本聡子区長（右）。初登庁では多くの市民の出迎えを受けた=7月11日撮影

#### ◆「時代に応じたアップデートができていない」

区長としてではなく、欧州の非政府組織（NGO）で長く働き、外側から日本を見てきた一市民として思うのは、政権交代がない国というのは珍しいということ。欧州では、中道左派と中道右派が政権交代を繰り返す傾向があります。

両者は「選挙で国民に審査される」という意識が強く、選挙に向けて政策を磨きます。政策ごとに考え方が違っても、ジェンダーや気候変動など、若者らが重視する新しい課題に応えなければいけないという緊張感は共通しています。党が時代の要請を政策に反映し、時代とともに変わるというプロセスがあるのです。

ここで前提になるのは、国民が投票に行くということ。国民の間には「投票に行けば変わる」という政治への期待が少なからずあり、政治不信が高まれば、街頭でデモなどの形で現れます。日本では政治不信が「選挙に行かない」という形で現れています。現状を変えたくない為政者には一番都合のよい状態です。政権交

代もあったとはいえ、戦後、ほぼ同じ政党が統治し、時代に応じたアップデートができていないことには、危機感を覚えます。

◆「市民が関われば政治が変わる」



区長選で街頭演説をする岸本さん。「候補者は公開討論会に出て政策を語り、自身の強み、弱みも見てもらわなければならない」と語る＝6月12日撮影

「議論しない」という政治文化も理解できません。候補者は演説やチラシ配りだけでなく、積極的に公開討論会に出て政策を語り、質疑を通して自身の強み・弱みを見てもらわなければなりません。「有権者は政策を見ていない」という考え方はおごり。政策を見てもらう機会を積極的につくるのが、政治に関わる者の使命です。

国民が主権者意識を取り戻す上で注目してほしいのが、やはり地方政治です。これだけ国が変わらない中で、主権者意識を持つと言われても厳しいものがあります。地方のことなら、選挙や地域の活動を通じ、街づくりや福祉、学校、公共サービスなど身近なものが変わる可能性があります。

私は市民グループと政策協定を結ぶ形で（区長選の）候補者となり、選挙戦を通じ、より広い市民層との議論を通して政策をアップデートさせました。市民が関われば政治が変わるということを示したのが、今回の区長選だったと思います。地域の活動が、交流サイト（SNS）によって、今まで選挙などに関わらなかった個人に届き、緩やかに繋がった。

これが杉並だけで終わってはいけません。他の地域でも「やってみよう」と思う人が出てきてほしい。それが、民主主義の危機を乗り越えるための一つのアクションになると思います。



<杉並から～始動 岸本区政>

東京都杉並区の岸本聡子区長に単独インタビューし、区政刷新から民主主義の再生まで幅広く話を聞いた。

<杉並から～始動 岸本区政③政治の役割>

東京都杉並区の岸本聡子区長は、初当選した6月の区長選で、身近な課題は世界的な問題とつながっていると訴え、共感を得た。新自由主義によって公的部門が民営化されるなど不安定になり、そこで苦しむ人たちの受け皿に政治がなり得ていない現状を問題視。「困難にある人のための政策を実現できるか、政治の姿勢が問われています」と訴えた。



5月に杉並区内の子ども食堂を訪れた岸本氏⑥（住民思いの杉並区長をつくる会提供）

◆世界的な問題と身近な課題はつながっている

杉並区長選で地域の皆さんに伝えたのは、経済危機や新型コロ

ナウイルス、気候変動などの世界的な問題は、身近な課題とつながっているということ。「世界中の人が同じような生きづらさを抱えているんだ」と感じ、（課題の解決に向けた）勇気を持ってもらえたようです。欧州の非政府組織（NGO）で、各国の公共サービス民営化の実態を調査してきた私の、いわば唯一の強みだと思います。

今、国内外で起きている多くの問題は、新自由主義的な緊縮財政に端を発しています。公的な仕事の非正規化が進んだ結果、若年層を中心に不安定な雇用が広がっています。エネルギー危機は、発電や供給、販売などのプロセスを民間に売ってきた結果です。欧州では公営住宅の売却が進む中で土地バブルが起き、住宅費が高騰しました。政府が後から価格を調整しようにも、公のコントロールが及ばなくなっているのです。

政治は、新自由主義に苦しむ人の十分な受け皿になってきませんでした。お金や権力を持つ人が中心の「エリート政治」になり、

かいり

生活者の視点と政治が乖離したことも原因です。労働組合の声を重視する政党もありますが、非正規労働者は労組にも入れない。結果的に、与野党ともに新自由主義的な政策を推進するという傾向が続いてきました。



本紙のインタビューに答える岸本聡子区長

◆大切なのは「公共の破壊」からの転換

こうした政治全般への怒りが、欧州では極右政党への支持に向かっているという現実があります。不安ややるせない思いを受け取ってくれる政党やコミュニティが他にないからです。

極右は常に排他的な主張をしているわけではありません。「福祉は大切だが、他の民族に分け与えるほどの余裕はない」など、人々に強く訴えるメッセージを持っています。最低賃金の引き上げなど、困難にある人のための政策を実現できるか、野党も含めた政治の姿勢が問われています。

大切なのは地域経済を重視し、公的な雇用に安定させること。私はこれを「公共の再生」と呼んでいます。世界的に続いてきた「公共の破壊」からの転換は大変でしょう。ただ、区長選で私の言葉が有権者に届いたのは、多くの人が軌道修正の必要性を感じているからこそ。特に選挙を通じて出会った医療、保育、介護関係者からは、強い危機感が伝わってきました。

困難にある人の声を聴く努力については、妥協するつもりはありません。自分が当事者ではない問題に関しても、むしろ当事者ではないからこそ謙虚に学び、聞き、理解したい。政治家に求められる、一番大切な能力だと思うからです。